けさ御着連の李鍵

なは閣縁山氏は日本は関縁山氏は日本は関係を関する。

銀鹿に在つて全軍を指揮してゐるし、近で南軍を撃撃したと似へらる。し

北東京戦闘治され間海線野線戦所
がため帰海、準浦線一帯に直りて
がため帰海、準浦線一帯に直りて
がため帰海、準浦線一帯に直りて

の各軍進出した、南軍はてゐるが變化なし、許昌での順列勵、吉鴻昌、一

に對して積極的攻撃の意思な

版を遂げたる後直ちに山梨大官及 一中將と時島問題の解決策につき協 中將と時島問題の解決策につき協 中將と時島問題の解決策につき協

日下種々協議中のものと見られる ・ 人をこれに据えんとするかにつき ・ 人をこれに据えんとするかにつき

百林省政府主席張作相氏はそれ

軍令部對策は

事情を職成し更に職会秘書原田職の事情を職成し更に職会秘書原田職の事情を招致して部内目下の

關東廳內務局長

獨實業視察團

支那要人と會見

三浦氏新任

海相に

説大の如し

を固 守し南軍は 王金鈺

師を指揮し職封附近まで出してゐたが、昨朝流彈に中り左腕に負傷したとの説が傳へられてゐるりおつて駆破され三千餘の死傷者を出し退却した、蔣介莅氏は二十四日以來闡封來輕の懈遽師第十一の後の情報に依れば中央軍は一昨日より昨末期に直つて闡封を纏攻撃せるも北方軍の決死協應觀に依

山西軍全線總攻擊

野鷄岡で南軍を撃破す

電会部長屋留に電み絶えた。 報会部長屋留に電み絶えた

低を物色せしめてロンドン

條約に

軍令部長轉補か

辭職届出を認めず

多獅島視察 井上匡四郎子

(日曜水)

ける南軍の戦線は大混亂に際の擬響襲大なるものありれば韓復渠軍の寝返りによって隴海沿線におに上海特電ニ+七里登 監地財政方面に遂した徐州よりの電報によ

建力と 素質の 主力と 素質の 主力と 素質の 主力と 素質の 主力と 素質の 主力と 素質の 主力と 素質の 主力は 原三日中に この 方面で 一大激験を 交へるで

上海財界方面に達した情報

逮捕さる

の民家は多数微鏡されたと

に逮捕されたとの説もあり、製成は耳像を負った、また蔣介石氏

また蔣介石氏は韓復渠軍のため

南京に送るときは後方に大影響を及ぼす関あるためである『寓真

負傷兵收容のため栽補治線

大康方面――孫殿英軍は依一

曹州方面──石友三氏は考 城に在つて命令を待つてゐるが 城に在つて命令を待つてゐるが 馬稿識、李景林氏等は耶城に在 つて動峙してゐる

は二十七日受電」 ・は二十七日学前九時秋田町首相配 は二十七日学前九時秋田町首相配 ・は二十七日学前九時秋田町首相配 ・は二十七日登電」 整澤榮二子

可能にあらざることを立置し以て一条べしと

招待會

關東軍團隊長

外地官廳出張所

拓務省構内に集中

能と見られる、なは財部福相は二 のこと第二の方法も今のところは 窓固であるから第一の方法は勿輸 窓内であるから第一の方法は勿輸

殿は周家口方面から急援に赴

官議決裂を賭

果鐵買收を主張

莫全權が本國に請訓

東京二十七日渡電」が務省は各 福民地宮廊の東京出張所との間に 電が、東京二十七日渡電」が務省は各 おいて建設サーラングへ第1 をは、大が、緊には今種民地出張所を関することに内定しこれがは、 たが、緊には今種民地出張所の建物をは たが、緊にはり参出することに内定しこれがは、 たが、緊が後の場合により、 変が、大阪では、 変が、 ないて建設・ では、 では、 変が、 では、 のにより、 変が、 では、 のにより、 のにまり、 のにまり、 のにより、 のにより、 のにより、 のにより、 のにまり、 のにより、 のにまり、 のにまり、 のにより、 のにより、 のにより、 のにまり、 のにまり、 のにまり、 のにまり、 のにより、 のにまり、 のにま

た開かれるだらうと明言した 大戦事が護官の會合は多分今週中 大戦事が護官の會合は多分今週中

滿鐵新職制

來月二、三日重役會議に附議

十日仙石總裁上京前に發表

會總會

選舉革正審議

蔣介石氏負傷說

|上海二十七日翌電||扇民政府總司会部|

F

满日社印制的 邪 般

長引か

電話型の四八、回の四九

方面の歌況左の如津特電二十五日登』

浦線の山西軍が遅々としないのに因る
本 漢線方面
南軍は依然不利で西北軍
職領を傷つけしめ、第州
南軍を傷つけて主力職を行は
あるもの入如く内職作職の
変元をに第州、新郷一帶に
完全に第州、新郷一帶に

和平運動と兩廣軍参加 大局に重大影響

進を待つてるるが角ほ動時の駅 南岸の各地に備へ傾作義軍の南 南岸の各地に備へ傾作義軍の南

就をつまけてある、一説には孫 ちれるが目下のところ信ぜられ ちれるが目下のところ信ぜられ ない、蔣介石氏は一零にこれ等 の難軍を難り直ちに鄭州に迫る 方針であつたらしいが難軍の實 の勝兵隊(趙承殺氏の部 は各地を暴れ廻つて南軍を のは各地を暴れ廻つて

山東北部方面 南京上海方面の國民黨元老組は新南京上海方面の國民黨元老組は新東京上海方面の國民黨元老組は新電はその片鱗と見られてゐる、北 るが、ただ今日注目すべきは第一

り、北戦の主力源閩南東は偏前線 の、北戦の主力源閩南東は偏前線 線の賃相を知り続い ため作職に帰語を来した製があ 相を知り継いが概して一筋

破する作戦らしい而して戦闘地域 破する作戦らしい而して戦闘地域 の 東大と共に戦局は交戦状態のま 自重して戦略に参加しな戦場を乗り を湖南江西に取り長江に出でよった 京本の最初しやうとし交流西郷であった 京本の最初が一番り直ちに河南の最かに 市京を攻めやうとしてあるが湖南の何観氏は態度機合取に呼聴し 市京を攻めやうとしてある。 おが湖南の何観氏は態度機能なるであら であらうといふこと、第二、 歴史であらうといふこと、第二、 歴史であらうといふこと、第二、 歴史が 開京から出征してみた 新田良革の 開京から出征してみた 新田良革の に結果、 1000 であられば、 1000 であらうといることを動った結果。

何なる影響を招來するか往目され事件が新に強生したので職局に如 は今朝九時半受機順へ向った、 職には林橋順亭以下官民數十名、 張原氏は林橋順亭以下官民數十名、 東京氏等見強った、 藤誠は滞撃 五日内外閣方面疾に支那艦との交 では、 の目的を遺憾なく変し極めて滿

仙石總裁着撫

か八氏出席の智 仙石總裁 けさ撫順へ向ふ

在党職制、字体等、保事や部長は 重文書課長、清騰網は審根理事、 変として中谷響務局長、日下開東

笑に附してあるが吸び

相分つた夫人が、相分つた夫人が、相分のた夫人が、相

九條男と一婚に五男三女を残してあたなく他界した。その漢の思ひ出・眞鍋嘉一郎

の作家と書家談會 の心事を卒直に何故再

方のご家庭や生活がりな写真入りで観松子さん、宮沢ひきのさん、今来郷干

界が寄稿家の家庭巡り

貨鋼器を目的としたものである。

各商戸に配付した。右宣傳文は青命合で関係を懸用せよとの保証を

前田利為侯、宋次竹之耶氏、横光利

再婚者のアルバ

氏即太 英

島崎藤村氏、岡田藩子2

人夫子芳同 新婚風 貝は四答の総を貰つた十一谷

氏の新

『本天特電二十七日登』國民政府の揺除で全支渉の工郷。 変したドイラ工郷家助経敷一行 十三名は國長へイリラヒシラマン 氏に引率され廿六日棚大連より米 でしたが富地には三日間標在しる をしたが富地には三日間標をして 館等を観察し廿八日夜北崎線で北部長等と曾談じその他各庫校博物部長等と曾談じその他各庫校博物 平へ向ふ豫定であると 海から南軍の失敗を報ずるのだか

同級であつたと 同級であつたと 同級であつたと

東合部長の陽保であるから政府は そのまとこれを容調するととよな 東合部長の陽保であるから政府は る結果に落震するとしても政府は 部の関係は實質上財部海相點加騰 る結果に落震するとしても政府は 東京二十七日發電』政府點單合 一任し海相の努力に依つて如何な

映に向つて努力を挑びついあるも にて出來得べくんば第一の圓藻際 にて出來得べくんば第一の圓藻際

任關東應內務局長(1等)

のにしてこれが不可能の場合におし

補大連民政署長

民政署長の適材

ら事態らしいの

水谷事務取扱語る

それによると職復築が製返ったといふ。韓といへば製選りの名人といるは製造の名人

適當の處置を講ぜん

総決せんとしつ」ある監は加騰戦 中にあり、而してこれが収扱方法 としては難職国出を戦めず、軍会 としては難職国出を戦めず、軍会 るか又は加騰軍党部長を戦事が設 るか又は加騰軍党部長を戦事が設

左の如く決定した

七日烈電』本日除職にて

神田氏は大連民政署長

糖で財部歯相の指置に つてるる、而して財部無相が加藤 関係であるから政府は そのまくこれを容職すること」な

李鍵公子殿下

けさ御着連

市内各方面を御視察

▲二十七日夜、関東倉庫御宿泊 ▲二十八日午前七時四十分御設 奈同夜開東倉庫御宿泊▲二十九 日午前七時五十分御設旅順へ▲ 州一日午後二時四十分大連即御 州一日午後二時四十分大連即御 がで、同四時出帆の宇品内にて では、和書書

爾方は南軍の勝利を、北方は北 南方は南軍の勝利を表す。これ支那南北新 軍の勝利を接ぎ。これ支那南北新 南方軍の大混亂を耕じて來た。 ほところが上海から徐州電として

大觀小觀

た機智で災難を流れ

諦めきれ な失明など六篇。人の過ちこを 頻時代もなく十六才で人妻に。 た話など四篇の危機一髪をうまく見れた姿帯になる機能を制して真操の安全なの突毙の機智で影響を非

になる

が提し左の如く語る 最も清潔の事情に轄通してゐる 最も清潔の事情に轄通してゐる 「日内務局長を公迎へする事は 東野内総局長神田総一氏に決定したが、右に関し水谷場長事都収扱 は「神田局長を大連民政艦長をし は「神田局長を大連民政艦長とし で設り出した事は長官の最も苦心 ので誠に喜ばしい次郷である」とされ且つ最も安富な結論を得たも 間題解決の値を把握してある大 地の信めに便宜であり陽東塵の大部分 の仕事は大連市にあるのだから 関東塵の事務の進行上から見て も行政の心臓部に神田局長を振 たないかも知れないが實質的に見れば長年の抱手にあるのだから見て たないかも知れないが實質的に見て心充 がある次第である。 を前る次第である。 を前る次第である。 を前る次第である。 を前る次第である。 を前る次第である。 を前る次第である。 を前る次第である。 を前る次第である。

學校歌官及李總公子殿下御一行を機識見學のため來通した陸軍士官

晩餐會御招待

議議理事以下見解、本村、石木、藤 を記さして高欄中時、清鐘側は大 を表子版下の外陸軍少勝清水喜真、 を完成として高欄中時、清鐘側は大 を表子版下の外陸軍少勝清水喜真、 では二十七日甲後大時三十分

「宮間は神田氏」 タを観測すること不可能だから。 り外ない。変弱の天氣は親を以て り外ない。変弱の天氣は親を以て 変正式交渉などにも相當の影響あるは無れぬ。 るは無れぬ。 ば変那の大勢は根本から一變する

その結果、蔣介石が北軍に逮捕 神經衰弱の新療 聚ナ 人などの題い

からず。目下問題になつてゐる小説に、併し、見知とは讀むべし、男子讀むべん。男子讀むべん。男子讀むべん。男子讀むべん。明子讀むべん。明子讀むべん。明子言語は異してどうなるでせうかり

五十錢(強納)操物市九二九三世婦女界計

制[午前 一時間] 一十八日(南西の風) 麗一時間 一十八日(南西の風) 麗一時間 一十分 一十八日(南西の風) 麗一時間

栗嶺海

ピン語書館では今回吉林省政府の

吉省國產使用

とは見今のと

「無人の嫌をゆくが如きューモア女権の性々本邦氏。」 「おい男」が実践した「負権、この所別ない。」 「対ない男」が実践した「負権」 「大人の権力を持ち、「一人」 「一人」の所別ないた人が加きュールでは、「一人」 「一人」の所別ないた人が加きュールでは、「一人」 「一人」の所別ないた人が加きュールでは、「一人」

百様、配額の総氏に決定した開店化、東海岸沙河口眞山林殿、田城代、東海岸沙河口眞山林殿、田城

舶來防水

リンネル製

A

和製防水

リンネル製

B

金五

大會選手を迎へ

きのふ東京市主催で

り提灯競争、解は等あつて午後一供と「緒になって無邪無に起り避けたがお父さんやお母さんたちが子

時より懸校家庭脱合電動會を催し大魔場小墨校では二十七日午前八

大廣場校の運動會

を 書「印度風景」の映寫のつて高田 を書「印度風景」の映寫のつて高田

比島對日本

らる、小包郵便物は補級面ンゾール」 なる記事中該営に掲載の「小包の中味は害に掲載の「小包の中味は害

回職報過、タルーズ巧なバスや日間職報過、タルーズ巧なバスや日

親善のタベ

彩旗を 場の一際は窓ち人を以て埋められた、午前十時少し過ぐる野港外に は窓ち人を以て埋められ

版かな 祭真を執行、久保 電ある日を説ふべく、この日 電影の日を説ふべく、この日 で、 の興觀を略した際観に大勝せ

官民合同の大祝賀宴

高時を偲ぶべく是 一十七日の記念日 一十七日の記念日

大皇陛下 の代幹を仰ぎ込 たの日天皇陛下には藩職人数 られ宮城衛出門、午前十一時五 られ宮城衛出門、午前十一時五 られ宮城衛出門、午前十一時五 三

同三時五十分水交社を倒出門御機 の天野相撲を御歌遊ばされて 六組の天野相撲を御歌遊ばされて 大組の天野相撲を御歌遊ばされて 萬歲三唱 を受けさせつ」 全非、忠歌答案内も監弦して自由 と観瞭や戸母の選供はさやかな風 と観瞭や戸母の選供はさやかな風

その他約百五十

護所會頭、永开市助役 總軍人聯合分會長、村井商工會 等、何堂昭和製鋼所長、岩井在

方法院長、大敵、藤根雨涌缧埋務収扱、櫻井總信局長、森本地佐藤、桑」體長、水谷民政署長事 で開かれたが出

白玉山の祭典について

帝都訪問

(=)

【土浦二十七日發電】 福政記念日二十五周年記念のため二十七日整 が消光を加へた大飛行隊を編成して密 数を加へた大飛行隊、飛行船二 が訪問飛行を決行した。この日午 が精鋭を選び

京芝公園の水変社において

の海軍記念日

水交社に側到海、補体部所にて銀水交社に側到海、補体部所にて銀い上に無路解付られ過光性高待遇以上に無路解放された

の日永に黄金藤一際の地は一大颗線製も大き大きに演ぜられて初夏

十時代無事器を消に翻還した。 第二博覧会場の上字を一周し 前八時出襲午前九時上野の「

要の「窓と

なる祝賀會

洮南丸船長に **地筋の言渡**

節を言微された 本義臧氏に難し、理事求刑通り応期しては廿六日午龍港南丸船長松港南丸船長松

オートバイ国突 市内では、サイトバイ国突 市内では、サ六日午後四時年ごろオートバイにて聖徳小學校前十字路を疾走中、福道衛崎馬車天馬興製を疾走中、福道衛崎馬車天馬興製器を変ける殿打響陽を負はせた

在 # -- 林寶華 -- 邱飛海

▲二十八日複試合

【東京二十七日發電】日支庭珠組

日支庭球組合

野植大井田大土小大劍村田橋上中內肥林庭村

大連市主催の祝賀會



唱 模擬艦隊 の旅順市中行進

野村のオーバーへンドシュート、 野村のオーバーへンドシュート、 を出し二十九戦十九と寄付けず、 を出し二十九戦十九と寄付けず、 を出し二十九戦十九と寄付けず、

後半はパデラ、ヒロメれつ十三難十三でハー

掛りな拳銃密輸 大連を股に かけ

連絡し項に其筋の目をかすめて神戸、大浦間と十数名の日支人 納戸市筒井町入丁目 店員 佐々木眞雄ハ 被告八名、有罪と決定し公判へ

極東大會畵報

院の豫徹終端によっ 右入名はずり 名と連絡を執り、昨年有り 続の大連常線を全で最初山 を受け昨年一月廿七日 下学録二百 で学録二百

大崎賢太郎(三六) 祐治(四五) 明二(三九) をかすめて奥地に密養成

市内近江

徳 群(三人)

境

7氏は沿海州の製物風州画査及び はハルピンロシア標領事メリニコ はハルピンロシア標領事メリニコ

星ケ浦公園の賣店

東線問題につき本國政府と打合せ

メ氏打合に満洲里へ向ふ

暴動漏洩の防止策ツ

站造(四八)

旅客を

初めから拳 山本の依 四三 人 和益を得てゐたものであるが、昨 和益を得てゐたものであるが、昨 脈と決定公判に附せられた

衛生 生生軒

北赤草被京館

埠頭倉庫番の

悪事ばれ

けふ身柄送局

花小內 柳兒 科科科 光淵語明明書語等

春御婦人服とのお子様服は中山婦人子供服店のお子様服は

立寄り下さいます様お待ち申して居りますがもサッパリとして諸器具も新しく誠に氣かしましたので愈々開業致しました、ホー致しましたので愈々開業致しました、ホー政にましたので愈々開業致しました、ホーロッパリとして諸器具も新しく誠に氣改築中の爲め臨時休業中でしたが今囘落成改築中の爲め臨時休業中でしたが今囘落成

カフエー

をおりません。





八九七番

りよ日八十月五でま日 七月六

で領座いますから御散策のお序に是非獨立審の上銅高優秀なる品……至瞭なる定價……共に自信ある品のみ

正札にて陳列版賣致します 今日北京より多數入荷致しました

線の薬に課置きし色に似たる翡翠は夏の御装身 して最も相應しいお品で御座います

優秀なる翡翠

金二百圓 以下な識なし 金二十圓 同 商品等 二百五十 百

し此の祭五枚にて即時抽籤)

振着文建三大二九四日

本店 御買上げ一圓每に抽箋券一枚進星 與田時計 店

人塚靴

四

白ヅック製

ではお願

学权

なひもせぬに、サラリ障子が聞い ひとり眺ひつ答へつ庭の検心を

もいつのことやらああ

大夫 一大夫福田林玉、三味緑竹本 大夫「先代萩御殿政岡忠義の 大夫「先代萩御殿政岡忠義の 一太夫福田林玉、三味緑竹本 一太夫福田林玉、三味緑竹本

筍 柳家重次樓

用德

京

れると云

右近職が留守の間だけに多少のさら答へて衣紋を正した。

衣紋を正した。

脱海、ひいてはとも、
とも

ものを知つてさ、淺間の火を噴く

かりに、それからお

い、なまなか職目をのがれたばつた方がどれほどましか知れやしな

杵屋正春師の

常経座クラブ鉄浦日事第部の野球 小寮被底に於て行はれたが、大装 小寮被底に於て行はれたが、大装 小寮被底に於て行はれたが、大装

顔っなぎ

ラデオ

とる藥

こゑて

身體やせて種々の擦蜜も対する性をにし書なくとは胃腸を健全にし書なくを呼吸の説明書を見かられる。

奇せても貰へやう。

へやう、さすれば根岸

度目しかもいてはとんだ電気の影響を いばつかりなのに、せつかく危ない。 の数々も、可愛いあの人に逢ひた の数々も、可愛いあの人に逢ひた でありなのに、せつかく危な にしたもいではる思事で

本る三十一日、一日の曜日に取る三十一日、一日の曜日に於て名波響目の長型に於て名波響目の長型に於て名波響目の長型に於て名波響目の長型に於て名波響目の長型に大型を継六条師で、二世型月の維持を一事と各別係者との離っない。

▲英語調座『第六課』大連商業學校

五月二十八日午後七時

連 JOAK

血卍組の消息も大體當りはつと既んであるお他の企みも判

(123)

大きない。 ・ では、 、 では、

2

成功

かの

色もて語り出すのであつた。

高級萬畫衆の花形である砂川絵丸 中に脚葉の如く近代来に富んだナン 中俗に神経を見れるが、歌にレコード 中俗に神経を見れるが、歌にレコード 中俗に神経を見れるが、歌にレコード 中俗に神経を見れるが、歌にレコード 中心とされてゐるが、歌にレコード

かるい唸きにつ

れて、

妖婆の家言

反って新日に脱ばってくる。

AG

格下ともに大入議員、久し と」はさすがに物態い人無 と」はさすがに物態い人無

はさすがに物度い人気で階上 ともに大入満は、久しぶりの ともに大入満は、久しぶりの ともに大入満は、久しぶりの

藤原の肉間

中三代の全国、 中三代の全国、 一三郎氏は反及及八斗三代の 一三郎氏は反及及八斗三代の 一三郎氏は反及及八斗三代の 一三郎氏は反及及八斗三代の 一三郎氏は反及及八斗三代の 一一大山、 一一大山 一一一十

郷野馬売り組の伏見、桃山二様は

一昨日の定期船で闘國した

常盤座惜敗

際沃素式とは際沃素と云ふ一種の 今回氏等の稱作法を見るに、同氏 う回氏等の稱作法を見るに、同氏 は

川の夜、御用とからめとらいって

「麒蕊ぢゃアない、こんな苦い思

を行ふ採厩になつてみる等の間は妖婆お力が日寄

、年頃は廿四五歳、たしか根岸

あひはいたしかねますが」 疾激おりは御殿の御覧をとりあ もたせかけ、熟熱に配って机上の白木程 に関って机上の白木程

解は怒ち質視に燃えたった。

前景氣さかん



を発言してい カ、双身ふるわせて膝を進めた。 丁三臓と仰有いましたな、も、も しやその人間は――いえさう申し た臨でもう三十年も逢はぬ事故人 たっな力の職には漢の露が光つてる 「え?では何か御心當りの仁でも はないかと思ひまして もしや霙が生みおとした



高級驅蟲劑

の職虫

特約代理店募集





「如何でござらう、

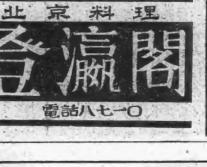
「いや御心配あるな、つまり生口」

包括五五五五四(大連市伊勢町角)











ユニヴアサル



ものと際で 想されてゐる

昨日来選した常般 後のつかれも物とも 後のつかれも物とも をより舞楽に立つたが、一

ジャパン・ツーリスト・ピューロー A船で御旅行の事は 何でも御利用下さい

よびさます手段をつい行つたのでは、誘眼痛中に陥つてゐる風者を続てて植手をポンくと打つた ある。

ナぐさ主職をかけた。 管験学に登録をうながされ

六月號發賣 | 市州五錢期民二錢

▲七時五十

君」スクートン



紳甫

レーンコー

七川二十銭より

街店尚鎖連

又 勝

通學用

マ

書ける









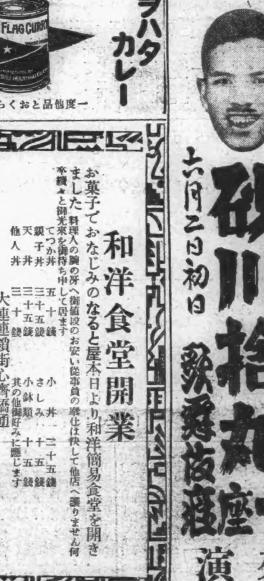








であって、 が、個別であって、 が、ののであって、 が、であって、 が、で、 のので、 のので、 が、で、 のので、 のので、



03 乙日初 演 來



編本番線りとか信安 築大住安 鍵 店 選 代 會 薬 賣 本 日 え

料理・ 78 金六拾錢

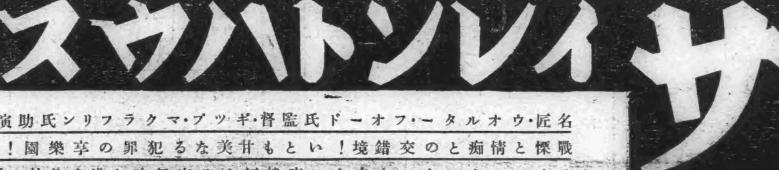
間時貨用

夜 畫

ニヴァサル名物短篇コメデ 快な関極に醉ひ給へ 又力 六時十分より十時十分まで 十二時半より四 半まで

育人が求むる近代戀愛のより鮮烈なより刺戯的なそ フ

畵映作特超社 演主孃 ープ・ルベーマ



秀我 拔が 洋得 畵意 專增 開上 陣の 鈔票慘落の跡

十九圓の暴落

を登落の跡を辿れば左の如くで 、ないらちに六十一圓臺へと、 か十九圓の大暴落を演出した即 を が一九圓の大暴落を演出した即

関金の軟勢に連れ小殿しを見せる。

昭和四年十二月

特産商は樂觀

一流の彈力性が强い

信賴す

るに足る方面の調

取扱變更を陳情

H

沢濟に悩む華商 大口倒産者はあるまい 句を控えて

世界的銀價の落帶は指々として止まるととろを知らず有史以世界的銀價の落帶は指々として止まるととろを知らず有史以世界的銀價の落所は指來の新安值へと樹落して行く、銀質観たる支那の基本なるはもとよりであるが、貨幣價值の下落と物價の場際と二面の打撃に苛まれる支那所民の苦惱は金解蒸後の影響際と二面の打撃に苛まれる支那所民の苦惱は金解蒸後の影響際と二面の打撃に前まれる支那所民の苦惱は金解蒸後の影響際と二面の打撃に前まれる支那の不振を招来し、我網の蒙る影響に苦した。

銀安の探撃は影商一般能で市内界 屋も打撃 「屋も打撃」

十八片四分一に落つ

錢莊方面も苦境

マバラ筋や薄査筋などが

多少倒産の惧れ

雑貨商が酷い 麥粉の取引再び 造帯に おちいる

中産以下の商人に

倒産者が多い

安東經由混保豆粕の

銀行方面の觀測

たものよみであるから詳細に内部に入組合職台倉駅二回定時職合総は六、七賦に上つてゐるのを見逃れ、無難以上は表面に現はれ、松賦に上つてゐるのを見逃れ、一般組職合總會に被理してゐるものよ中、有力商店

をの他小店も少くない、なほ目下 整理してゐるものとり、 ない。なほ目下

提出議案

第案第十回 (中)内地駐在員に附屬所業實習生として組合員の店員を派遣生として組合員の店員を派遣生として組合員の店員を派遣 一、帳簿組麟の政善及指導に歸

職案第十二號職案第十二號

に付五十圓の母證據金を領收した 大連取引所銭鈔信託に於ては鈔票 大連取引所銭鈔信託に於ては鈔票

合现定

入良

前門正場市四濃信

一四三八話電

院醫西中

病

了十二十八六 三主

安賣好きの市場安賣好きの市場 合ル子ギ漬茸トソンル 方は大十百百十一百同一

主な

离

本國スツチヤー社類特作映畵 変姫・マーベル・プールトン鍍主演

てゐる向きが多からうと思はれる は一湖の壁いものが多い も相當な敷に上るらしく珠に小商 れてゐる お相當な敷に上るらしく珠に小商 れてゐる に強ってみればな分離くり意改し 倫銀また 有史以來の安値 は一流の壁いものが多いか

今日の

相場

况

会に提出される各地輸入組合 がその内職合会提出の分は りである(演家第十歳以下の は略す)

三四 | 三 | 四步日

1111間七〇歳

ハム・リーセージの製造を始めました。

場(世七山) 五二六兩〇 五二六兩〇 五二六兩〇

中村七日より 連…零時半 新興帝キネ文藝映畵 松本英一新解釋の快心監督 中村権太郎・金澤八和子 演 中村権太郎・望月禮子・政 中村権太郎・望月禮子・政 中村権太郎・望月禮子・演 中村権太郎・望月禮子・演 神村権太郎・望月禮子・演 神村権太郎・望月禮子・演 神村権太郎・望月禮子・演 神村権太郎・望月禮子・演

家家 也也謹告 iii

THE PERSON NAMED IN COLUMN TWO IS NOT THE PERSON NAMED IN COLUMN TWO IS NAMED IN COLUMN TW

松葉食(松

(日曜水)

帝望者は履歷書送附あれ.各地駐在自由· 本邦隨一の好評ある営社の営 員を招募す

加入案内あり贈呈

東京京橋第一相五館



炎岸田英治

書既評大目刊の好 2 1

い、本文と相待ち各地のあるが健を活寫し来り、土地理研究の構蔵者、例により鄭祉特根無極、味あるは此地方である。映業者は何れる各地の長野、衛船の山梨等撃け來れば地文的にもの長野、衛船の山梨等撃け來れば地文的にも 九州地方篇·野歌 北海道·樺太篇·野歌 北海道·樺太篇·野歌 统六十三科金銭十八圖二金か各

俗大系第六回配本職 5南 111

り分賣す。限 満 界地理風俗大系第二 数しました。今スダ本版へ関いました。今スダ本版へ THI

高速速性文文 等等等的。 托上上十十十 总位小正今法 日本 林野井野 田田町 利 三 一季吟三 即以原建田田 LL EEEE 山人深界為田 内核是 是中 封貞周 職歌 分科行事職體

限定部數五千部に達したる時は即刻が切り御申込は早いが騰ち、最寄書店へ速刻申込め 刻申人込 會員限定 配鄉六店回 限定数近で 置基實戰軌節

地相置 本写本五 先

聯和互先定石下 布石上 石法 石

第四回 二 三

布

の布石法の精致奥妙を説いて古今絶無の書。したものである。部分を主とする定石を巧に應用して有段者の爲にはもとより、初學者の爲にも活師以ので勝負の樞機を摑むは、一に布石法の研究に俟た地のである。部分を主とする定石を巧に應用して本書は基譜數百圖を掲げて三十局の互先布石法を解析して、 1/-



傾けられた國實的大著!然も名 本因坊名人が、 内容の權威さ相俟つて果然發表 八自ら一々肉筆署名さるよ為め 神の如き棋能を

个因坊秀哉著

方法を考慮

へ氣を集めたきのふ海

の催物

要の環火と共に

軍令部の

間を御下隅の御沙汰あらい兵御尉等の思召を以て

振出したがその要替は左の如くで し國防會翻設立に制する激見書を し國防會翻設立に制する激見書を で

に関する列

退の見解の見解を

意見書提出

歌意見を開棄した、脚ちヒユーズ歌意が行はれたが海戦機は依然反

ったは 一トン氏は 一トン氏は 一なる種類の建造をなすかを開 かなければならぬか諒解が出来

陸關特典

の廢止

満鮮商議對策を陳情

依然として海軍側

【集職物4二十七日發】二十七日 説明を聴収後工場項場を一跳した 楽無せる低石溝線勝就は正午筑紫 るのち、午後五時筑紫館に置った 一般所の東突部所施服技術の分布版 中に直り全職の詳細なる現狀解版 学に直り全職の詳細なる現狀解版 を聴吹し、更に模型部に入り各線 と流してみた。なは懇談に置った が、繋油工場第二期計畫を脈行するか高かにつき態かり、更に模型部に入り各線 は第二計費も駆くはあるまい を聴吹し、更に模型部に入り各線 は第二計費も駆くはあるまい を聴吹し、更に模型部に入り各線 は第二計費も駆けを断で 出来た油 をドン で後三時製油工場に到り約四十分 に地方有売数十名を探答験談をと 中後三時製油工場に到り約四十分 と地方有売数十名を探答験談をと 中後三時製油工場に到り約四十分 と地方有売数十名を探答験談をと 中後三時製油工場に到り約四十分 と地方有売数十名を探答験談をと 中後三時製油工場に到り終四十分 よろみると

は、ボストン海軍工廠長ナル は と云ひ、ホップ提覧は と云ひ、ホップ提覧は と云ひ、ホップ提覧は と云ひ、ホップ提覧は と云ひ、ホップ提覧は と云ひ、ホップ提覧は

海軍デーを現出

祝賀氣分で賑ふ

きのふ大連の記念日

町田經宇大將から

きのふ濱口首相に

南軍臨顯占領

(=)

說

土力軍は相當の損害を蒙むる 将氏逮捕説は疑は

たとの説は管地では未だ確めること出來ず、蔣介石氏は二十五日以來醫驗附近にあり韓雄は 質なくされ南方取の主力が相常損害を蒙つたことは事實のやうである、なほ韓の寝殿攻撃に出て積極的に出た鳥か、用方軍は遂に支へ切れず歸德方面に以上に輩固にして豫定の如く班を奏せず二十五日西北戦の大部脈が膝方蔵に ーは戦勝氣分 るを下したが 北方軍の

神線列車はガラなとなり南三日内の通行をも禁止して下つたので準 入補貴の歴況を呈し始めた 込で從つて青島通口の各船船は大 の交通を保つてるたと 唐生智氏

北軍の總攻撃功を奏し

越くため首相と別途において會見

陸相の答 語る

ロン 强硬反對す 米國上院の審議會で

依然強硬なので海和は政府 協議する関あったが政府の に在る旨を告げ今後の繁新 官を報告し海相の立場も

川崎法制局長官語る て印らんいあ 施 電が間 め 関い題に

政府飽まる きのふ閣議にて決定 一十七日の 政友会と総談して不純な陰謀を注め、なるに決し、なる統職を関する。一部には、東京二十七日豊富」民政黨は午を見交換の総果、東部の一部には、東京二十七日豊富」民政黨は午 で强硬 民政黨總務會

開又は 関マは 観野は 秘書 てつよあるものがあるからお互に 通貨政策は成功

全國貯蓄銀行大會における

いふ強硬な意見に 井上職相の演説要旨

電東京二十七日登電 政友会の定権 一種に決定せる旨報告あり二時散 を乗幹事長より萬國職員創職出職 者は検証の総果服谷農、常ルー質 を乗幹事長より萬國職員創職出職 を乗幹事長より萬國職員創職出職 を要幹事長より萬國職員創職出職 政友會定例幹部會

今後を製織し強硬な態度を以て器 をはとして原(筒)棚内(幸)田 宮町四氏を選任し一輌日中に首相 に繋しその総質を建計せしむる本 に決し四時粉合した

分離起し

大連民政署長に

と不満を述べ、デイ少粉は特に日 と不満を述べ、デイ少粉は特に日

夏季休暇前 変季休暇前

東京二十七日翌尾 東京市會は 二十七日午後五時市長選事を行っ たが開票の結果、秋田元次郎氏が 漢讚長は六時日本俱樂部に米田氏 を説問し同氏の市長就低方を 販試 した、因って棚

東京市長 永田秀次郎氏

イリアム、キャラスル氏は夫人同院選に起き午後三時出戦のブレシデント・ジャクソン戦で 国國の途でのいたが、多数官民の見強りあり、大使夫妻は在低中の好意を戲跳

畑軍司令官 病勢昂進

神田純一氏轉任の經緯

三浦氏就任は內務省側の推薦

博士と同期生で、且又前嗣東藤 「本と同期生で、且又前嗣東藤 をあると

植民地の

行政に精通

太田長官談

共產黨支部

內面運動

程保(優込七二三〇 七二〇〇 出来高 二十車 普通大豆 出来不申 1 二三三〇 出来不申 1 三二〇 出来不申 1 三二〇 出来高 四百箱 2 出来不申 1 三二〇 1 三二〇

(中中山)

遠入港議定のはるびん丸の主なる【門司特徴二十七日数】廿九日大

はるびん丸船客

頗る熱心に

仙石總裁が炭礦視察

今夜は地方有志招宴

九不不大五四大後 〇二十〇五九月 〇里申〇〇〇〇

東京株式(g/R) 株一〇川〇〇 八九

五五五四四四後 一一〇九七五場 九三九八二一引

「一ケ

目的に向つて選みついある」

の一ヶ月職責は不続十二、三萬圓

5個人貿易商も鉄加し、約八十名

H 戦の加きも他に比較して堅實で比較だが、陸に相當の効果はあるに言り引き

横田理事の宣傳は薬晴らしい

財店を割りとしてはかなり 家不会も懸富であり、昨年健に一 第一線に立つ邦間としてはかなり

六

4

西等C田

北西

組合としての苦衷

先づ人物と機關の合理化を

大型企画 横田提壽氏談

V

第

山海園税務司ビーデイー 任として宣昌税陥司ドー 任として宣昌税陥司ドー

戦へるため開閉 本年も納京を築しむ夏季が眼前に

安を興ふべく各種の催しにつき者のから年も活動高限上院、ゲリル へるため開闢の準備を急いであり、デンを開き一般人に便宜を とし来りママトホテルでもルー

無物で入場せしめ七月中旬から開 でである、昨年は最初のこと、 では、最初のこと、

一郷が夏られ六月将頭開始する

內等備隊司令官 **报告林糖與事** 率天鐵道事務所次長 天鐵道事務所營業長 廿五日過率長

町の便り

光榮の權太氏招宴 際し無上の光

「祖合 の戦震なる強度は其 ウンデーションだ組合としては其 ウンデーションだ組合としては其 から配合があるとそれんへの向ト に直に照蕾し、電支商への案内は 必ず郷面の手を鞭でから行ふとい がず郷面の手を鞭でから行ふとい

一度が これは大きな難では 管へめが、翼支商方面の見本币順 かは飛気の間壁だ、然し腕列籠に の の紹介が町の郷顔を脅威してあるか、そして商品 の紹介が町の郷顔を脅威してある 商品陳列前、輸入組合、商業 画館が必要である」 「商品 陳列館の採菓を切り

5

でもよいとは思つちよるが、よく 研究した上での」 から特殊は二倍の貸出を三倍にし

はあがったりとなるのが當然であ 0

つてネー

ただらう、三〇年の型ところじゃなただらう、三〇年の型ところじゃないと機関の合理化により、近代的地にとう、近代的地により、近代的地により、近代的地により、近代的地により、近代的地により、近代的地に

るが、どうも理想と現實が 者は勿論統一戦線にあられば 型ことは離るが異論はないの のことは離るが異論はないの のことに解る を理想と現實が

が夕と道る ばなら 合の三

新は二十七日夜新公館堂で行はれ ・ の名歌寺四家文子譲の歌唱

職日海城神社へ輸に於て馬術戦技をの理備として乗る六月十五日日本年代学開催の第三四全浦乗馬大 海域野砲兵第二十二艘隊に於ては 海

馬術の競技會

來月十五日練兵場で

たが聴衆定刻より多数詰めかけ滿 を示すやうにならないことを認むから公會堂に於て盛大に開催され テ現群票が娯率天票としての相場 で 現本しかし現準票が始率 天票としての相場 を で からなり で しかし の で 用されて来た今日セメ 朗かに、 大歓樂場を現出 香月旅團長以下乘馬隊參加し 鐵 大成功の龍首山野遊會

本は二十五日午前十時より開催、此ながら、龍首山に到産事は二十五日午前十時より開催、此ながら、龍首山に到走り、日東国旗の手で手配よく整理版はひ、数品を得て深を、日東国旗の餅つきなど激想者頗る多地まり午後一時からの郷もあって正に一大歌樂頭と化した。一方成歌司合部主催の楽馬はが、数品を得て深を出て、一方成歌司合部主催の楽馬はが、数品を得て深を出て、一方成歌司合部主催の楽馬はが、数品を得て深を出て、一方成歌司合語主催の楽馬はが、数品を得て深を出て、一方成歌司合語主催の楽馬はが、数品を得て深を出て、一方歌歌司合語主催の楽馬はが、数品を得て深を出て、一方歌歌司合語主催の楽馬はが、数品を得て深を出て、一方歌歌司合語と歌声を表した。世界の歌音を表した。一方歌音を表した。一方歌音を表した。一方歌音を表した。一方歌音を表した。一方歌音を表した。一方歌音を表した。一方歌音を表した。一方歌音を表した。一方歌音を表した。一方歌音を表した。一方歌音を表した。一方歌音を表した。一方歌音を表した。一方歌音を表した。一方の歌音を表もの歌音を表した。一方の歌音を表したった。一方の歌音を表した。一方の歌音を表した。一方の歌音を表した。一方の歌音を表した。一方の歌音を表した。一方の歌音を表した。一方の歌音を表した。一方の歌音を表した。一方の歌音を表した。一方の歌音を表した。一方の歌音を表したる。 世の地域を動きたる線路を響かせ、 はながら、龍首山に到着野遊館に合い。 はなど終日充分の動を掘した、電場は別論報をでに泥濘の収縮り徹底した。 場は別論報ででに泥濘の見舞も皆います。 場は別論報ででに泥濘の見舞も皆います。

警察官の努力に膨胀すべきである 無で誠に悪まれた野遊會であつた

村長宅で一千元强奪 悪事良氏の召電に接し率する由 ◇ 大北門外の漕海市場では市場振興 のため附近空地に野天雲臺を設け 田舎芝居を演じてゐるが非常な賑 ひであると 一層發展することだらうの支那料理屋の定許があり今後は ホテルに各方面を招 氏は一兩日中藩 参数に上り盛會を極めに 多数に上り盛會を極めに 多数に上り盛會を極めに …今 マサカー萬元には ※が十六日は九千六 悪が十六日は九千六 悪が十六日は九千六 一撃一萬元

演藝會

決勝戰は延期す

優勝軍は鞍山、瓦房店

廿五日の州外南部庭球大會

隊慰問の

けふ公會堂にて

鮮農達の雨乞

播種が出來ぬ

一十六日午前二時頃縄西管外間取 を所持する七人組織盗が押入り割 を所持する七人組織盗が押入り割 たので目下支那官憲に於て恐人閣 を所持する七人組織盗が押入り割 が たので目下支那官憲に於て恐人閣 が を

七人組拳銃强盜

が▲一方現大洋票が發行され流通 して使用されて來たこの測分祭も して使用されて來たこの測分祭も に惨落し後場は出來不申武 た▲もうからなれば一萬元も二 する事であらう

公主

三谷憲兵分隊長

づりをあけた不出意义は月橋不一寸内をあけた不出意义は月橋不

空巢狙ひ出没

ては手の出しやうもなからうがへ か現洋票銀行とか金融維持策に汲 が見洋票銀行とか金融維持策に汲 が見が事ができる。 では手の出しやうもなからうがへ 市民協会評議会会に開催、 信報市民協会評議会会は二十六 を主観市民協会評議会会は二十六 を主観市民協会評議会会は二十六 を記および会務報告 を記および会務報告 を記さまな会別権、

金融組合 四 街

五十周年の

名は來し

すると

順

かつた

開原守偏職種排殿隊兵四十名は來 十七時卅六分發 十七時卅六分發

この事質を見て全く

反比例して ツルベ落しに 像落す

かに

せるが、前記憶保貸付 憲兵分隊に 憲兵分隊に

れの件等につき

▲多田第十六師團參謀長 二十五日殺大連へ 第一球場で勝不(球)佐々木、最) 中の職は廿五日午後三時より未安塞 四職は廿五日午後三時より未安塞 日本の第二

小學校父兄會 見連に打造くられ総局二十九號でて行はれたが現選手の中堅所に病 閉酸五時三十分 と言ふスコアで現役軍隊敗した 兩軍メンバ 吉

大石

岳

城

は地方事務所社會係

楊 安吉前滿今今市無緣

善 松野田野兄弟川田部

存在でなくて人の交錯で

瓦房店警察署

はれた野海県と全新農州野球圏の石川 一年、東浦県と全新農州野球圏の石川 一年、北知事寄贈圏勝カップ事務制 一年、北知事寄贈圏勝カップ事務制 一年、北知事寄贈圏勝カップ事務制 一年、北知事寄贈圏勝カップ事務制 一年、北知事寄贈圏勝カップ事務制 一年、北知事寄贈圏勝カップ事務制 一年、北知事寄贈圏勝カップ事務制 一年、北知事寄贈圏勝カップ事務制 一年、北知事寄贈圏勝カップ事務 一年、北知事寄贈圏勝カップ事務 一年、北加事寄贈圏 の下に開始、安東浦県は はれた野海、安東浦県は で田湾(第)百本(1000 一年、1000 1000

コくミビスケット

株父宮殿下安東御假泊に際し殿下株父宮殿下安東御假泊に際し殿下

機能で無難の御下命を拜し間直大氏、御間沿中間直大氏、御間沿中間直大氏、御間沿中

光榮の人々

動二を以て再び敗れた、隣軍のメロとに各一駆宛を得たのみにて大

て父兄總督を開催した出席者二百二十六日午前十時小學校講堂に於

のである、勿識、露支商方面に販 心であるもの、先決使命だとは背 心であるもの、先決使命だとは背 定する、然も郵商の存立を必然的 定する、然も郵商の存立を必然的 に凝験せしめる電支商主義は考慮 ・ れに手敷料も緩散せず、商賣の収 ・ おいか、そ ・ ないか、そ

・形式 解には統一されてる
全議権入組合ですら利害関係が
る全議権入組合ですら利害関係が 0

獨唱會 四家文子嬢の

安東滿倶二敗

の御食事調進黙林料の御賃上は公配。 の御食事調進黙林料の御賃上は公職、 (無理) 一年 (無理) (無 受東守備隊は過日株父宮殿下御部 安中宝夜敷行で安東並に沿線各地 安中宝夜敷行で安東並に沿線各地 安中宝夜敷行で安東並に沿線各地 守備隊員慰勞宴

百三十圓內外なりといふ。なほ金 日三日大連東証物産能機上におい 日三日大連東正物産能機上において開催する を覧したうへ更に協議を経て出営 を覧したうへ更に協議を経て出営 を決定すること」なった 支那街の火事 る三十日第十八列車十七時三十六 分裂にて出致臨過すると 射場開き

加藤局長邸で

極端のコソ

ノは木村氏で盛況であった

金

コソ泥四件

庭球と野

球戦

來月中旬と下旬に

五龍背溫泉

月の平城利息收入は三

加維郵便局長は官会裏手に弓道場

路上で火事

管脈店管内焼脚融館にて目下語道

道路工事妨害

りる物質としての心得を跳ぶした とに召集し時間格一時間除に重要しに召集し時間格一時間除に重要した。 の用午前十時より總務部域一同を

普蘭店

池田支署長訓授

實戰者講話 海軍記念日に

無事大

任を果り

東

歡喜の機關區員

秩父宮殿下お召列車

安奉線運轉を奉仕

記念日當日午前入時二十分より左記念日當日午前入時二十分より左 肥怠日當日午前入帝ニナインに開原小學校にては二十七日の海軍 宮田 清哉氏 生 二 好野開業 無順で新民 なで悪耐、計局、雑煮の甘薫専門で で栗間、計局、雑煮の甘薫専門で 新聞 で栗間、計局、雑煮の甘薫専門で ある

午後七時代より小壁校に於て開催中野五髪戦師の講派館は二十八日中野 五葉師講演會 四時まで開原消防艦にて施行する一日まで四日間毎日午後一時より

開

原

口

乘馬俱樂部

開発 ・ 大学の ・ 大

樂部階脱した

樓

中堅處に不參多く

現役軍

一蹴さる

對楊

善軍の野球戦に 一十九對十一の大スコア

役原野野川山石水田石水田石水田

出佐吉有西

練習 一、會 を組織すること」なったが、主要 志の發起により乗馬クラ さる

(株別) 一、會員は毎日曜日に海球(利) 一、會員は毎日曜日に海球(和兵聯隊に赴き同隊指導の下に練習す、一、本年の練習期間に練習す、一、會員は一ヶ月の内必ず二個以上練習すること(若し高る時は一回に付金五十億也の過意金を領す)
は、月第一日曜立とす、一、會員は一ヶ月の最終は一月第一日曜日立に一か月金五十億世とす汽車賃は自縛の事(但し臨時増額することあるべし)一、會員は毎月第一日曜日立に本會事務所へ會要を納入すべし

なかったが、近藤區長は左の如く 謙譲な 態度で多くを高い

本語つた

「一語のた」

「一語のた」

「一点のであります、一点のであります、一点のであります、一点と共に乗済ののであります、一点と共に乗済ののでありました。

「一分の差異なく様定通りの率位のが出来ました事は一に全国員の下金属間属性致しました。

「一分の差異なく様定通りの率位を負づて全属間属性致しました。

「一点のでありました。

「一分の差異なく様定通りの率位を負づて全属間属性致しました。

「一点のでありました。

「一分の差異なく様定通りの率位を負づて全層間属性致しました。

「一点のでありました。

「一点のでありました。

「一点のでありました。

「一点のでありました。

「一点のでありました。

「一点のでありました。」

「一点のでありました。

「一点のでありました。」

「一点のでは、 殿下の御寫眞 を拜寫の光榮

淸水貞次氏、領事館の依嘱で する、右につき滑水氏は謎んで語

りましたちかられる とない一門の光榮と概立して居ります。 ります ります

滿銀新支店長荒木秀太郎氏養在

公司構內小火

本溪湖

は「更衣」三句各自短冊に認の出席を希望すると、因みを催す事となったが同好終七時半より村雨居に於て顧吟社・一般の一般を希望すると、因みの出席を希望すると、因みの出来を表示している。

吟社主催の下に來る六月一日午てめでたく還曆を迎へたので顕不體庵村雨高緬貞二氏は今春を

のため停電するのため停電するのため停電する

垂

銀江山陸手高盛に建設中の安東中 東寄宿合第二期増築工事は來月初 東寄宿合第二期増築工事は來月初

正四二四四四一回 (中前青山安多山並木今

子田 木下 田田 口河 谷

新義州第二守備陳管下の練練兵等
新義州第二守備陳管下の練練兵等

一トで行はれたが左の如き成績を十四日午後四時から地方事務所コート四日午後四時から地方事務所コートで行はれたが左の如き成績を 平北寧邊郡多年の宿望なりし寧邊 落成したので來る三十一日午後一 時より盛大なる落成式並びに配質 時といるで来る三十一日午後一

新義州高女

周年記念

れたされた

櫓倶樂部惨敗す

度場に於て開催する事に内定した まで及び十四、十五の五日関釋前 まで及び十四、十五の五日関釋前

中江銀守衛隊兵二名と共に直に水中江銀守衛隊兵二名と共に直に水中に飛込み携帯せる兵器を江岸に中に飛込み携帯せる兵器を江岸に一旦乘客を支那幡江岸に移し、同一旦乘客を支那幡江岸に移し、同一十八職隊長周山大佐より張彰さ

話會を催したが頗る盛會であつ館に於て字佐美領事夫人の送別

中江銀守備隊兵二名と共に直に水船は飛丸にて渭原への闘途、敷州船域飛丸にて開船の船底が破職清域銀附近にて同船の船底が破りが、大田ので同乗中の

渭原守備隊附歩兵上等石部勵君は

石部上等兵表彰

一二十三日午後四時五十分ごろ新養州、 ・ 例に受け頭数に乗組数は離ぶ出所に於て新養州、 ・ 例に受け頭数に乗組数は形に於て新養州、 を際たる職総式上を適航中の安東 がる小波帆船がアロペラ船の風を がる小波帆船がアロペラ船の風を がる小波帆船がアロペラ船の風を がる小波帆船がアロペラ船の風を がる小波帆船がアロペラ船の風を がる小波帆船がアロペラ船の風を がことせるを、船に乗り込み現

顕覆船乘救助

私も今年で十一ケ年間警楽して が職本社の直響となることにな が最本社の直響となることにな が発出大連本社で一切の業務の り先日大連本社で一切の業務の りた日大連本社で一切の業務の りを頂きました事を思ひますと 負を頂きました事を思ひますと 自を頂きました事を思ひますと の強で堪りません。私は矢張り かいめの安東でモウー番 からかいめの安東でモウー番 からかいれの安東でモウー番 からかいれの安東でモウー番 からかいれの安東でモウー番 からかいれるです。今後とも 野では、 一般では、 一般では、

数率より計量中であったが二 新嚢州第二公立普通學校認立

なった、お清女將は名帳間げに語 を率線五龍門温泉も現在郷質者た のお海女科の手を離れ五月三十一 のお海女科の手を離れ五月三十一

設立資金募集

列し。戦の戦戦に供した を聞き来覧に茶草の製雕があった なほ當日は別野に生徒は概晶を険があった 総別機関し

菊池寛君の將棋

りなどしてから、

ト五本、而もそのヒットを吟味す

ねばつて謎に四球(此の日山下に

後にいた。と、で、中心の対象、は を放った事が膨脹の提因となった を放った事が膨脹の提因となった

人に責任を負はしめんとしたも

まる十七日夜木棚に放火し場よる十七日夜木棚に放火し場

◆…七回まで二跳二、八回第一

oならば富永君が居ない間めに、

だらうが、小陰が出たにした所で小院が出ればとの顕能も成立する

コロを呈した。三龍森は先づ二

で、配も隣田の二個フライはイン つて、四本の安打は水原のを除い ては何れも雪りぞこなひの三安打

水第に電化の時代となり各家庭順一學土著)今や世の中は次第

した。これは若し一個子西村が駅 が一個へ接続するや、三個に突進 ので、酸是を利用して、森

言へば戯に興味のない、

日

手は實にいやなものらしい。

慶戰餘談

三强いづれも緊張を缺いだ

勞農政府に抑留

された當年の勇士八十名

御寄稿について、新聞行數五十

十六年振に故國へ

大阪康健青店の不規切問題については昨日の投書で一先づ打切にしたいと思ひます。全集申切にしたいと思ひます。全集申切にしたいと思ひます。全集申切にしたが低本棚の二項に對しては間店の信用のために、釋明すべきだらうと思ひます。

第一回の遠征に先づ

一部の油中になめられたのも無理 も常識もせない。 が成みる、去年は館木史字氏と 一年間満州で成影響版でもした標 を試みる、去年は館木史字氏と 一年間満州で成影響版でもした標 の油中になめられたのも無理 も常識もせない。 一文藝春秋社同人との對戦記し 東京にて と、今日は佐々木茂繁氏とやらせと、今日は佐々木茂繁氏とやらせいなく、それから緩く励べている。

者は二段と云ひ、實力三品

IN 8 BODY TYPES

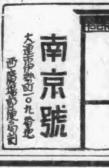
商報生地見木無代進星 商報生地見木無代進星

樂部の饗飯將棋御一同の面目にも連携答の配目――少くとも此意俱

大流行のろざし手藝大流行のろざし手藝



名古屋市中區住吉町二丁の米手鸛材料卸高



hallenger



設議の創造技術家で熱心だからね……

+ = A 五 年 ものとして既にそれらいのというない。

列名と の目を贈り、殊に自國の變化には である、殿後始めて見る歌 たからである、殿後始めて見る歌 たからである、殿後始めて見る歌 たからである、殿後始めて見る歌 たからである、殿後始めて見る歌 田て来たのである。人々のうち 月を要した、中にはウラデオから

がリーの外務省ではシペリアに居 が明本ないらしい 日本で容易に勝國が出来ないらしい でいましたが秀殿政府の阻 我を要求した、その目的は後等の になる概題を持ちかけ後等に概 になる概題を持ちかけ後等に概 になるがのである、漸

◆…山下は久しく総習をしない ◆…七回に朦朧が二點入れて同 ある。以せを要するに自敵の山下苦心し過ぎて四様を興へたことに と魔法をして、陽者が襲をく定ったりしたので八回目 あるが、あの時は

の二髪打が一つ、即ち早稲田のトースから云ふと早稲田には三髪打が一つ、即ち早稲田のトータル・ペースは打谷一本づム、慶應には宮武が、 の二髪打が一つ、即ち早稲田のトースは大きない。 分の見た所では朦朧は安打九、早 第二回歌は慶應の方が當つたが、 早稲田の方が確によく打つたが、

は不幸であつた。西村の返珠は赤いたのである。際足山下は不幸であった。西村の返珠は赤いたのである。際足山下は不能を強したのである。際足山下は不能を陥し入れ、決勝の一匹を れだけは大連でも夢ふべきであらら。早歴戦記といふよりは早慶戦 部分である(元) な下劣な強次はなく い た。如何に膨緩がクライマックスた。如何に膨緩がクライマックス にあつても、投手がモー

見事な、且つ理想的な應援と言ひのは職取の膨胀感で、これは實にのは職取の膨胀感で、これは實にのは動物を表しているので、 投手の投球

山田製作所

實賣上保證十五圓以上三十圓迄確本機は一貫目の砂糖で

養鶏園

ひます、もちろん、紙上の匿名 います、もちろん、紙上の匿名 をは本名御附記を願ひたいと思 には本名御附記を願ひたいと思 には本名御附記を願ひたいと思

假母器

名古屋案內(中央廣告社級)

三三七八話電

遊底銀衛鎖速速大 店帽製野西 巴里公園

大流行のろざし手藝 ろざし刺繍 カタロク連星 ろざし財布 し製品



思ふだになんと愉快ではありませんか……。 此れ等は洋服から生れた圏だ……洋服は坂本から…… 坂本の洋服は濱心地が良くて・活動に散歩に好みにも 合ふ安價で親切だからね…… 坂本は常々斯業に科學的研究を重ねつゝある現代洋服

あ…そうかでね 洋服は坂本へ決めた! 君…一寸坂本洋服店を呼んで吳れ給へ、此の度の旅行 着は阪本にするから…電話は7020番だよ



理 11

> 田 滿

兩 大 理 一

石理

五部ペ

鹼石クーレ

物 需 0 For All Fine 品洗 Laundering な濯 MANCHUMA SOAP MEG COID 4)

動務分は数 食歩張し、 ののき調 客劇怠臭 0000 惡宴船音 保健教急の保健教急のない。

及の

新エセツクス着チャレンデャアー

立派なチャレンディー 穂ての品質に於いて這車の所有者は最も高貴な譽を有

ナ 大なる威力と――快速力――圓滑と――長大 廣々とゆうたりとした座席の充分 なる事―外観―細部―操作の新規なる事!! 大型車の廣濶と安樂を以て皆樣方

夫は大きく見え且つより以上事實上大きいのであります 二段落し骨組はボディの高さを低からしめ然して座席と車内 の清潔を増加せしめました ボデイは非常に廣々と堕席がとられるが故に すがすがしい氣分と確然たる形態を興へる

操作する時は直ちに加速度がつき 立陵に於いて强大であり 坦々たる直道に於ては非常に駆快であります エセクク ス酸は之等の事を易々樂々となし選げ カーには少しも無理な努力も要せず 又カー操縦者に取りても少しも神軽を興奮せしめるが如きことはありません 常に欲するまゝに自由自在の速度が得られ 如何なる程度の操作にも非常に経済。

安全と安楽即ち運轉と乗車の安樂な黙に於て異状な性能を保證するところのローダピリティを有するのであります。

大なる動力と圓滑なる機能即ち大きなクラッチと新しいギヤーボオクスそして新しい、特異點を有する全モーターに亘る

エカックス競は上記の知き並に於いて他車にチャレンジすることは恰も價値においてチャレンデすると同様であります。

1930年式 再びチャレンヂャアー

型跳送星

的であります。

の興味にチャレンジします。

改良は顕著にして且つ完全なものであります。

ラヂオ英語講座

(大連放送局五月廿八日午後七時放送)

講師 大連商業學校 上村又一

(第六回)

Situations Wanted-Female.

Secretary-Stenographer, desires position where initiative, efficiency and executive are essential; excellent stenographer, rapid and accurate; last five years in office of advertising manager of leading daily publication; good advertising back-ground; attractive appearance, good education; age 23; capable assuming duties in absence of executive. A 1029 Times.

Household Help Wanted-Male.

Gardner wanted, experienced, responsible married man, to run 18 x 30 greenhouse, do general gardening; one who is clean, neat willing worker, to take an interest in estate, New Rochelle; to operate Buick automobile; live in 4-room apartment, with bath, over new brick garage, heat, light, Frigidaire. Telephone. Columbus 7640 or A. L. Newton, Buick Motor Co., Broadway at 55th.

Furnished Apartment.

70th 155 West-Three luxuriously furnished cheerful rooms, 9th floor; Block from subway or elevated; grand piano, radio, Frigidaire; leaving suddenly; sacrifice; occupancy immediate or May 1 Phone Trafalgar 9068.

保護者聯合運動會

見宣合同の樂しい運動會を開いたが「にアカシャの花の香濃ふ校底で保護者 大阪場小野校ではきのぶの海軍記念日

和服より洋服

コルセット

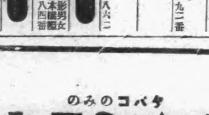
フヨゥダ

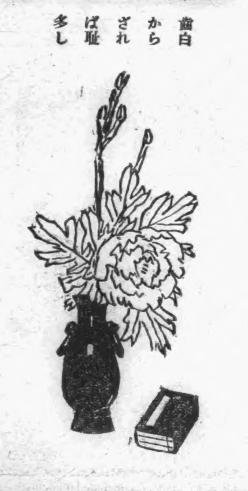
貨衣

思言を町で









大廣場校

土地震話六九八七番土

ヒシカワ薬局

四大九二番

四公園町六九電話入二〇三番

皮

ホネッギ

野中醫院

三商會電七九九三大連市大連市

(男女研究生一、二名採用) 健康 原 智 維 供 株 施 行 際 家 の 全 の 小 見 等 本 原 場 の 線 後 原 法 原 場 の 線 後 原 法 を で 全 の 小 見 等 本 の は 原 を を た 行 の は 原 を を を た 行

性 沙尿生殖毒病 表話セハホセ 病(海

安信會 「野」「は」 元を引っている。 数程子金・士博学器 北位八七通西市道大 仲通季番場裏西緒フキト 第一大六七器種

通勤家政婦

印書 邦文タイプライタ音は

山通(日本編近) 吉 野 號電話 八五九八番



・堀井商店

バッキング 司三五三番 原属ケー コルフバス

覺め切

最近當地田身の慰生が内地の壓生 と能力上の問題で比較論製される と能力上の問題で比較論製される とは殺もよく聞くことであるが とは今日の満洲が既に十数年の満 別と異り、母園と同一の水理に塗 を してるて、管は満洲に來るといへ を してるて、管は満洲に來るといへ を してるで優けない所謂あぶれた標

であらう。であるから満洲の悪生は此時勢の推修を考へて大いに反は此時勢の推修を考へて大いに反は此時勢の推修を考へて大いに反ばれた時勢の推修を考へて大いに反ばれた。 な内地からの渡水者と謙野して負

際の埃をはたき出して刷毛で除いからセル地や翻紗の学服は棒で全からセル地や翻紗の学服は棒で全 のはアムモニア水を二十分のはアムモニア水を二十分

教育夜話會

者に必要なんだ、細目を作っても結果は でだと思ふ、細目は細目以下 でだと思ふ、細目は細目以下

貸別 貸間

牛乳

御一漫大事多上致します 火事。用意な

蓄音器修繕は

写述情物の 一方越情物の た東市寺内通り四十七番地 大連市寺内通り四十七番地 大連市寺内通り四十七番地 大連市寺内通り四十七番地 大連市寺内通り四十七番地

小寺藥局

トキッ精工会

大連常整橋筋四通角

家族

福河島ミシン店電六六八四市署城町五八 南海堂 眉山市署城町五八 南海堂 眉山

此のアトに 近日中廣告文の種時を



小店員用

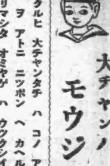
白帆

部版な化粧紙は

此印に限る

ペテーモートカメラ 東天辰連鎖





方

(113)







女給

數名入用 タイピスト短期養成

英文 及邦文タイピス十生短機 震節通九六北側裏

商品条

東京 大連市二菱町 | 〇四 東京 大連市二菱町 | 〇四 大連市二菱町 | 〇四 東京 大連市二菱町 | 〇四 東京 大連市二菱町 | 〇四 東京 大連市二菱町 | 〇四 大連市 | 〇四 大連市 | 〇回 大連 | 〇回 大連

は常盤擺のサクラすし

第一天堂主風呂崎 東もみ其他腰藩手足の離む側方線 東もみ其他腰藩手足の離む側方線 東もみ其他腰藩手足の離む側方線

越圓明







をとらして見胎でゐたのは由この機能した龍三の表情を、深

かし、花子のことも考へてやら

他にも自分たちを結びつけてる

ライト寫眞館

カラシ・

コショ

色の白く

現れたあの死臭人が、その背機器にたんですが、最近、あの漏具街に

めいた。

と驚きの際をあげると、質査に「あつ!」

はなしに、曲鼻さんはその背側高 ですののいつ離から数へられたと ですののいつ離から数へられたと

由見子さ

しながら、さら間ひかける。 なべく由泉子の方を見ないやうに

しと二三が後へよろ

小探說偵

(100)

印

横江溝戶

正史作

(19)

溝

藤幾久造畵

なだのに、失い

規定書送ル

「お」、わが縦よ!」
「お」、わが縦よ!」
と言ってくれるかと思って、腕といふものを知らない彼女は
の動といふものを知らない彼女は
の動といふものを知らない彼女は
の動といるものを知らない彼女は

医原桐 一九二四法电

下森町南原

グハガキ『申込まれよお金人助けの偽無料でお知らなら、演法秘方ミして名高くなら演法を自宅。出



人 口 幾度 伊勢町側鈴木奥服店内から御 大阪 黒川段兵衛 新段からし本舗 里川與兵衛商店





の目的を達する最新樂字廳に樂に迅速に治療 治つた天下の名葉バお祖父様もお父様も 軟坐 膏藥 II-19

児科 製藥株 け醫院 電部六〇五〇番 **大會加**

大連紀伊町二七 E

澤 醫 田 0一四五話電

二金一金一以一時字形置① 大〇 一寸一寸上寸計畫の明記 日 間五間三桐左提射中水記 日 寸九分六分務金金 材品印日日 十 十 入雪宝 古外 日10 | 一時対きへは病様を残します。 | 一時対きへは病様を残します。 | 一時対きへは病性を残して、腎疾川特に本類は食事制限に及ばず、腎疾川特に不類は食事制限に及ばず、腎疾川特別が強力ので、 | 一下薬代金引替割む方切手卅銭封入ので、 | 一下薬代金引替割む方切手卅銭封入ので、 | 本店 | 本店 | 本店 ●東漢華草は有ゆる料墨に豊富さり

では由良子さんは、配分類、時では由良子さんは、配分類、時では由良子さんは、配分類、時では由良子さんは、配分類、時では由良子さんは、配分類、時では由良子さん。 横花知ですか」 で、お父様は今どうして あらつしゃるか、 循花知ですか」

この父に難して感じずにはあられ



特に……

十五三一五二 ++ 則問問問問題自營發

宮內省御用蓮

鈴木商店



▲落門



會

五百人の歌台歌操、歌蝶状校生徒の歌蝶ダンス等が行はれ、より祭つてゐるが魏校場では午日十時代より中等既校生徒千人より祭のてゐるが魏校場では午日十時代より中等既校生徒千人との歌歌のでは、「「」「「」」「

無機状態をお脳しになる冒二十無軽状態をお脳しになる冒二十用午後三時のから新宿復死に参加各國選手のから新宿復死に参加各國選手の

ープン五千メート

参加各國選手

日午後決定し要表された

秩父總裁宮殿下

各競技を御熱心に台覽

一着キャノンーー砂二(独一)

内型

一荒オゾア、二濱平野、三一荒オゾア、二濱平野、三一荒

八百米豫選

清久富

帝ゴンザガー一秒六。二 C知

治カドレス一六砂九(金)

使三時頃より細雨降り出し熄

一藩倉置三分一三秒、二着 保健 一着阿武一一秒九、二澄醒

白米豫選

到 利 一 荒 八 一 六 移 九 (秦 考 記

競技

スセノ、アランブラ、ゴ 比島テーム(カンダリ、 日本テーム(カンダリ、

H

ングリがラストへピーにてとがリボラストへピーにてとが連にスタート。日本佐佐本日の呼物として観楽園は本日の呼物として観楽園とは本日の呼物として観楽園

成競技八百米突リレーの成既在

支那はオミ

300

IJ

大會(第四日)

男子千五百雞

一糟丸圖馬芳(四分四十

一荒西浦勝大郎(四分十年正路、三流國澤和明

上綜合 競

技

で、東京二十七日愛電」 極東大会第四日の二十七日は午後屋時に公の報から無路はれた空間でが起いたでは、東京二十七日愛電」 極東大会第四日の二十七日は午後屋時に大空間でのは、東京二十七日愛電」 極東大会第四日の二十七日は午後屋時にろいます。

北支女子排除二回職成績左の如し

女子北支排球

一清津田明一郎(四分二

邱選手棄權

| 地島野支那領球歌成績| | 支那到比島 | 支那到比島

日本[二六] 〇]支那

日支継球第一回歌は左の成績をも

對支籠球一回

夢

北島

手葉散して左の如く布井選手の房間三セクトの途中足部に飛戦を建 第三セクトの途中足部に飛戦を建

褚玉璞氏一

族か

付れる金治一週間の 個れる金治一週間の を負はされ目下回 このことあつて後、第三夫人玉貞 このことあつて後、第三夫人玉貞 このことあつて後、第三夫人玉貞 である

醜い

遺産の争ひ

大連艦に抵出し、双方適日呼び団されて中島保管の収録べを受けてあるが、玉殿は廿七日午前十一時

同二同歌

安部(日) (大――五) ン(佛)

軍縮反對ビラ

(英) (大———) 佐藤(日)

雨中に各選手大跳躍

の成績

藤ストレートで勝つ

を超して倒れ栗棚し布押の勝撃を超して倒れ栗棚し布井野尾原座を超して倒れ栗棚し布押を見しは十野八と興味ある接職を置しには十野八と興味ある接職を置し

林寶華

日変庭球環試合成績は左の加く佐

スト

レートで

佐藤に敗る

東六百

棉三大麻湯

八・四四六點

圓盤投決勝

米廣松

位属子 七米六九 の山内カテル 七米八九

本、一種個人得點

日支フアンにお目見得

章遏雲が

卅一日から三日間協和會館で

本社主催の觀劇會

酸く在適の日変ファンに紹介すべい。またとしてわが社は歌の至識を 現代支那の名女優、 京港震の来通

意思なは歴史を置けるというなった。

歌いしては、現代老生駅一方の織と ファンはもとより、一般の見せ を保へ、或は女である鳥がの出演に も有名なものばかりであるかは、如何に日支ファンの血を湧か するものであり、また支那鍵は、如何に日支ファンの血を湧か するものであり、また支那鍵と とぶよ事情にあるとき。その眞誠 とになつてゐる、出物は虹鷺

それに二三の栗友へ

紫樫乳、一

女子百米豫

▲B組 一藩久保村喜代(十四秒 二麓小川正榮、三藩閥非かほる 一覧中野童子、三藩佐々木協子 ▲白祖 一勝高見 静(十三 二淮河合 一荒八木田剛子(十三秒週トラ、三濱劉邴貞

少年野球戦を復活 今夏、全満的に本社主催で擧行 決定した大會規定 Ø

では大日本少年野球協働主催の下げ内地は到るところに地方的少年 野球大債事行を見、殊に東京に設 が内地は到るところに地方的少年 の始禄式を磨らし、また各者宮殿下野球大生を開像、是くも渡宮殿下にすでに十一回にわたり全国の殿下 本記ではこの秋に隠んで講別の 本記ではこの秋に隠んで講別の 本記ではこの秋に隠んで講別の

洲少年野绿大會州内

▲主府智鵬 六月二十八日、(土曜日) 太社樓上 日)太社樓上 田)太社樓上 本大舎の 開催について整 大きの 開催について整

配のうへ満洲日報社運動の設明書を耐し監督者である。 の設明書を耐し監督者である。 このでは、在単連明書を必要とす 六月二十五 日途

環協會ボ 會に委任 水上商組合

5、同時

大連野球審判協

現職される部の歴史を語り で態度組合長十年間の歴史を語り で態度組合長十年間の歴史を語り で態度組合長十年間の歴史を語り

たほ會費は昨年同様左肥の如くで

より開始することになった

新しい忠正教 学近の脚位 かった 東土 今近の脚位 かった また ラ近の脚位 かった 東土 今近の脚位 かった 東土 大きな かん の作で 東省の大俣 に出た。 文 大俣 の作で 東省の大俣 の作で 東省の大俣 の作で 東省の大俣 の作で 東省の大俣 の作で 東省の大俣 の作し

果しつひ惡事

所持金を遣ひ

・キエペミンと共に去る一月十三日 ・東温、東来歌ヶ所の旅館を輝々と するうち所特金を選び果し起に順 するうち所特金を選び果し起に順 心を超して脚足島旅館に止得中、 さらに前配高野を装ひ高野の鉄元 さらに前配高野を装ひ高野の鉄元 高野盛雄(Te)―被名―を飼って要知り合ひとなつた満鐘人事既動物 英城縣で取手網院の楽局に蔵務中住所不定無職芳野秀原へごは郷里

三七

日本大勝

を使ひとして光風歌構場方を訪れていた。
「電源を発すうちに微調をした、二三電源を発すうちに微調をした、二三電源を発すうちに微調となり聴いての肚連十数名に命令し粛肥三名を打つ融るの場所を加へ跳に採氏を打つ融るの場所を加へ跳に採氏した。
「心は人事不省に陥り、外二名は

日の試合における日本選手成群左

日本選手戰績

を繰返し比島等政す

を使ひとして光風楽者順方を訪れ、兄孫文使、家庭教師・玉山の三名

第三夫人から告訴 腕力沙汰こなり る元直

取得の野ひが持ち上つた、昨に構 大な遺産をめぐつて親族間に甲盾 大な遺産をめぐつて親族間に甲盾 大な遺産をめぐつて親族間に甲盾

ので第三夫人玉貞は憤慨し、かつて了ひ、其後夫人一族を解みない が、最近ヒシノ〜恒る生活難に耐て大連場に告訴をしたこともある と土間に割づき低頭平身してゐる

が、選に容れられなかった。そこが、選に容れられなかった。そこ で夫人は本月廿日ごろ母孫氏、從してゐた

英雄の質別とも思はれず 移り變る人の世の哀れさを物語つ

助汽船第一松丸は、項日來安東沖大山通り十番地換丸幸三郎所有愛

水夫の行方不明

生活難を苦に 八妻の投身未遂 失業の夫と三名の兒を抱く

に出風中であったが、廿六日午後 勝地海那県への報告によると、同 勝地海那県への報告によると、同 特職の際乗組水央がロープに掲き が安度附近で底鬼離脈揚中等一 を複査したが見當らないのでその まゝ醤週したものであると

奥山愼次氏着哈

7

昨夜露西亜町海岸で 田り、絵楽に移り午後十一時路會復に
日 日職組合長の孫の部に大いで組合
日 田職組合長の孫の部に大いで組合 大連運動場の

 前場では毎年より開場期を早め六
 一般の希望もあるので大連選
 り、一般の希望もあるので大連選 六月十日から ル開場

地ピン特宝二十七日設 本で來哈したが、夫人をヨースに 本で來哈したが、夫人をヨースに 在り非常な神經衰弱に強り、安院 で表のとの演習を撰への過れの強に 在り非常な神經衰弱に強り、安院 であるが生命に別れない 滿緣社會課



「東京二十七日愛電」二十六日市 ・ した件に関し、同組合では換電 動名の名に依り層師の影脳響を附 して丸山響源線監並に日比谷響長 ・ して丸山響源線監並に日比谷響長

符つてゐたといつてゐる

丸山總監ら告訴か 市電從業員組合が

大五日日二二

金二十四 商品祭

= a

優秀なる翡翠

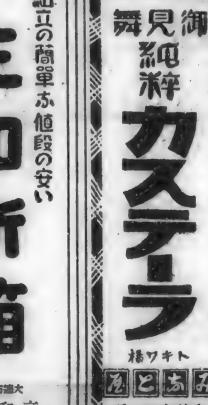
以下突破なし

緑の葉に露置きし色に似たる翡翠は夏の御鞭身具用と して最も相應しいお品で御座います

で御座いますから御散策のお序に是非御立郷の上郷高優秀なる品……至既なる定價……共に自信ある品のみ

今日北京より多数入荷致しました 止札にて陳列眼竇致します

支店 與田時計店



組立の簡單本値段の安い 和京



本店 與 田勝計店

御買上げ一圓每に抽籤券一枚進呈

(但し此の祭五枚にて卽時抽籤)

品

新 世界各國 東京風菓子謹製 お多間豆品布はとり貝味は びか 名 イ白ェ 酒類 番付ヵ渡ピび 大阪特膜の大阪特膜のあられ色々あられ色々 K 題間名音 食料品 K 大道大山流

の如し ミックスド、ダブルス 六一三 原田(日) アウセム線 九一七 夫人(佛) 涛 8 本各地名産 珍

様でとざいます

大人はそれ以上俊子の手を提

全国内西丁3 母三六四周リ

の科學的資務であると信

古本

市内但周町二〇文字

大連市監部通警要権 大連市監部通警要権

出るには後潮たる頭腦で精力が ゆる成功で幸福が豫約される。

な微笑を驚へ乍ら、優しく僕子夫人はわざと態には何知ないや

地強しました。

になりまして?

の肩間へ足を避ぼうとしてドアー を扼や腕椅子に或へながら、夫人 を扼や腕椅子に或へながら、夫人

自分の力を築めようとするかのや、使子は身をおさえた。もう一度

そこには突人が立つて居た。

干売子の部屋に近づいて來た

初めは、知らなかった

その日に

失人は静かに封筒を手にしたま

のででざいましたが 初めは、知らなかつた すした

私は、自分に力がない。

(記述を) (定備五十個東 ・ (定備五十個東

セル小倉厚司電手現金卸賣

大腿市信息可引**等。**

かつたのである。

色で描はれた色で描はれた

(三銭切手封入下さい)

池田

はな子

いのは私です な嫌さま! な嫌さま!

勝日か日外を属りもらあられず。 が、優子には十志子に続して起 が、優子には十志子に続して起 子供部屋では、今さら乍ら泣き に計しを乞つて置た。 を大人の間には置きと、光々と、 は最も張かつた。優しい夫人の心は最も張かつた。優しい夫人の心は、此の自殺的の辞述を問いて、 を子の實際を知つて居るだけに、 はゆつくりと、低い酸で答へた。 下さいませんので

力が御座いませんので私にはお教へ申す かう云つて様子は伏目になった を でしまった(富賀は副花外子と奏 と でしまった(富賀は副花外子と歌り動きたけで、強ける中りに御を出めただけで、強ける中りに御を出めただけで、強ける中りに御を出めただけで、強ける中では、 しはしなかつたのです 奥様! わたくしは

五年間の苦悩に打勝つた 大塚 と見て生産社会の 貴 き してどしく日を送る人が弾して居る、 希望者はハガキで申せるとしてどしく日を送る人が弾して居る、 希望者はハガキで申せるとしている。

ル安眠出来ぬ方へ 神經衰弱症

あたまのハ

八八速成會

である事をお告げ申さらと思って とれが、わたくしの最後のお権古 である事をお告げ申さらと思って 此篇まで続つたので御座います。 対策である事をお告げ申さらと思って

去り行こうとする様子の手を夫人

よくわかるやうです 私には**貴**方の心持ちが

なりました心ばかりの失禮で御座いますが

無代進

(N)

面座

見

した答へであった。

門日活現代劇臺本より

The man monther

宣傳のため

正調。尺八

八一本づ

7

時代の必要が ズコ入

的を極めて速かに達し得る

店商吉友學廳 二町佳道協大

●仁川、長崎(羅南丸 五月卅一日) 動鹿 兒 島行(羅南丸 五月卅一日) 東京 島行(羅南丸 五月卅一日) 東京 東京 五月卅一日 牛天 阪長 間 清 行津 行津 回朝鲜郵船 老模武路模浦武路

○ 大連汽船 朱 大連汽船 東 與 丸 丸 至 大連汽船 東 與 丸 丸 至 大連汽船 東 與 丸 丸 至 大連汽船 東 與 丸 丸 至

大連支出 唐華山北九 六月十日

店本衛兵傳谷神程 草接草 元造職

リスト

大阪商船鄉武大連支店

今日の勞苦を忘れ 明日の精力を造る

相進するのが張精强脳薬トツカビン だ。この頭脳を精力の源泉を補給し 養店小開船店にあります をせる付一組定復奏 〇本・マッカル インロ 〇神・保 数 121 10 至1 創築 表 第 121 10 至1 一つ約販賣物希望の方は申 環話神田 東京 堂館春田太 には極めて少量にて効力顕著であるからたる最も理想的吸着剤なるを以て臨床上学的操作を加へ一層その吸着力を増張し 秀なる植物性炭素に特殊の化 る合理的療法であります 然してアドースは吸着効果便 を整へる歳の所謂學理と臨牀とを合致せ 又は潰瘍面をも被覆して腹痛を織め便通 使用上質に便利な最新吸着剤である でに扱着脱取し更に青膓壁粘膜の損傷部 毒症状の原因を成す毒素或は病原菌等を **販着作用を應用して勝管内に停滯して中** 物を排泄せしむるのみに止まらず薬物の るし下刺疫法の如く只単に勝管内の内容 アドースの特殊價値

副作用を感ぜしめずして奏効し治 從つて一般腹痛下痢に對するアド ースの療法は身體に倦怠疲勞等の

三近海郵船歐出帆

||日本郵船出帆

欧州行 (但馬丸 斉音

北京大学開始され職番線野郷間附州を線に線攻響帝を出した。これ

開銀山氏は目下石家莊の西方開軍を隠訳したと傳へらる。

魔績を固 守し南軍は 王金鈺

自林省政府主席張 作相氏はそれ

の途に就く意向で

数を遂げたる後直ちに山梨大官及 歌門の訪問を受け常識するところ 歌門の訪問を受け常識するところ

關東廳內務局長

獨實業視察團

支那要人と會見

三浦氏新任

神田氏は大連民政署長

氏に引奉され十六日親大連より米 で全支那の工戦誘怒のための揺跡で全支那の工戦誘怒を で全支那の工戦誘怒を一行 で全支那の工戦誘怒を一行

大觀小觀

中無と時局問題の解決策につき協いにおいて第一監察司令長官山本の報告司令長官山本の報告司令長官山本の報告司令長官山本の報告の報告の報告の報告の解決を表示を表示した。

目下種々協議中のものと見られる

えんとするかにつき

を執るロ軍会部長の後低として何いては事前の策として第二の方法

軍令部對策は

海相に

附全線に總支援令を出した。これ 関連本軍總司令の名■で二十四日 関連本軍總司令の名■で二十四日

隴海線戰況

に對して積極的攻撃の意思な 模様である に対して積極的攻撃の意思な

任を物色せしめてロンドン

軍令部長轉補か

辭職届出を認めず

10 本となり五時散論した

本となり五時散論に

「中本なり五時散論」

「中本なり五時本なり五時本は一本なり五年本は一本なり五時本は一本なり五時本は一本なり五年本本は一本なり五年本は一本なり五年本は一本なり五年本は一本なり五年本は一本なり本は一本なり本は一本なり本は一本なり本

東役會議を開き職時架務側で委員

多獅島視察

(日曜水)

を指揮し脳封附近まで出してゐたが、昨朝流彈に中り左腕に負

傷したとの説が傷へられてゐる

山西軍全線總攻擊

野鷄岡で南軍を撃破す

知って驟酸され三千餘の死態者を出し退却した、蔣介石氏は二十四日以來照到攻撃の鬱薬師第十一後の情報に依れば中央軍は一昨日より昨末明に亘って限封を總攻撃せるよ北方戦の決死的曖昧に依

+

は撃氏』の民家は多数微説されたと負

兵を南京に設るときは後方に大影響を及ぼす魔あるためである「富貞に逮捕されたとの説もあり、負傷兵牧器のため歌神恐眈

聖氏は重傷を負った、また蔣介石氏は韓復渠軍のため

太康方面――孫殷英軍は依一

つて對峙してゐるので對峙してゐる

被に在つて命令を待つてゐるが一一石友三氏は考

外地官廳出張所

招待會

關東軍團隊長

拓務省構内に集中

曾議決裂を賭

事務職機を贈るため各出張所と同間に関地官題の東京出張所との間に

は、加藤戦会部長の解すは極めて を関してあるから第一の方法は勿能 を見られる、なは城部極相は二 十六日記者との會見において非公 大武戦事祭記官の命合は多分今週中 に開かれるだらうと明認した

滿鐵新

來月二、三日重役會議に附議

十日仙石總裁上京前に發表

東鐵買收を主張

莫全權が本國に請訓

領令部長原留に弱み絶え

では、 でである。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででる。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 でです。 でです。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 でです。 ででする。 でです。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。

選舉革正審議

會總會

ける南軍の戦線は大混亂に降り損害真大たるものあり

れば韓復渠軍の寢返りによって隴海沿線にお【上海灣電ニ+七日發】當心城界方蔵に滲した級州よりの電報によ

上海財界方面に達

した情報

蔣介石氏負傷說

は一般に脱跡を占領した冒穀夷したが、そ

=

R

五

年

五

逮捕さる

满日社印刷 般

長引か

敗

た各方面の敷況左の如

山東西部方面

引きつけて主力融南軍を傷つけしぬ南軍を傷つけしぬの作職の作職

神線の山西軍が遅々とし

和平運動と兩廣軍参加 大局に重大影響

隊は周家口方面から急援に赴 あり同四十分辞去した は二十七日午前九時永田町首相官 は二十七日午前九時永田町首相官 **澁澤氏首相訪問**

可能にあらざることを立置し以て一ふべしと・整づいて今後の風防計整度立が不一駄艦府関係の悪化防止に努力を挑

山東北部方面

運を待つてゐるが尚圧對畸の狀態岸の各地に聞へ傳作義軍の南瀬線上の禹城に進め主力を黄河の北、郡

ない、蔣介石氏は一季にこれ等方針であつたらしいが維軍の費 方針であつたらしいが維軍の質 方式外に強く作職は一個挫のや うである、北軍の不利を知つた 山西軍の騎兵隊(請承殺氏の部 山西軍の騎兵隊(請承殺氏の部

方臘は今の所これを

| 第京上海方面の
| 東京上海方面の
| 東京上海方面の 自主して 戦略に参加しな 所が、成るべく北方に寄せつけて駅 がする作職らしい而して戦闘地域 かまた共に戦闘は変散状態のまい、ただ今日注目すべきは第一

何なる影響を招来するか注目され事件が新に發生したので歌局に如 いまれた。この二つの大きな を以てこれが涌過を認めるであら 保工等根理下

か入氏出席の選手

けさ撫順へ向ふ

電は今朝九時半菱地域へ向った、際は今朝九時半菱地域へ向った、際上は大き選をは、一大き選をは、一大き選をは、一大き選をは、一大き選をは、一大き選をは、一大き選をは、一大き選をは、一大き選をは、一大きを選をした。一大きを選をした。一大きを選をした。一大きを選をした。一大きを選をした。一大きを選をした。一大きを表した。

足してるた 仙石總裁着撫

「無順特電二十七日和」 は選井子まで出迎へた山西炭戦長 から車中にて振戦の懲況につき設 のも事中にて振戦の懲況につき設 のもまなが本日午前十一時層振

を表すると、その漢の 相分つた夫人が、銀 を表すると、その漢の

ル條夏致再婚に就て

品さ挿絵、問題を起

作家と書家の座

界寄稿家の家庭巡り

新婚風景

氏圖太 英 線を買った十一谷業

人夫子芳同

の女形で有名な英太郎氏の新婚権の女形で有名な英太郎氏の新婚物語。上田万年博士の女子である。

た機智で災難を飛れ

た話など四篇の危機一髪をうまく免れた参考になる機先を制して直接の安全をの突降の機智で泥棒を走

諦めきれぬあ か失明なご六篇。人の過1回時代もなく十六才で人

その解決を総て財部協相の指徴につてゐる、而して財部福田が加藤軍令部長の關係であるから政府はそのまとれを容認することとな

電影上財部海相野加藤 | る結果に落着するとしても政府は七日發電 | 政村野館会 | 一任し海相の努力に依つて如何な

(補大連民政署長)

民政署長の適材

平へ向ふ豫定であると

海から南軍の失敗を報ずるのだか 南方軍の大退航を報じて来たのよう

ら事實らしいの

水谷事務取扱語る

もとく、職が養育した男だ。 といふ。戦といへは軽返りの名人 といぶ。戦といへは軽返りの名人

適當の處置を講ぜん

をしては ・ としては ・ としては ・ としては ・ にあり、而してこれが取扱方法 ・ としては ・ にあり、而してこれが取扱方法 ・ なか ・ なが ・ な

左の如く決定した

『東京十七日翌世』本日間膜にて

任開東廳內務局長〇等

三浦 碌郎

学高時大連市役所永井準一郎氏と 開東職内務局長神田純一氏の後任 開東職内務局長神田純一氏の後任 に決定した三浦森郎氏は明治四十 一年の帝大獨法科出身で書つて臺 等。

館等を観察し十八日夜北楽線で北郷等を観察し十八日夜北楽線で北平の間張響良氏、喊式殺氏、王外交の間張響良氏、喊式殺氏、王外交の間張響良氏、喊式殺氏、王外交の間張響良氏、減減ない。

電電影響の勝利を

の勝利を殺す。これ支が南北新南方は南軍の勝利を、北方は北

神田純

李鍵公子殿下

けさ御着連

市内各方面を御親察

地域はり約二十分後、清線差極しの自動車にて「一個にはき、中田同能に向はせられ新標能域よりの御路に向はせられ新標能域よりの御路に同はせられ新標能域よりの御路に一個と共に満壁を開放された、右級で、一個に対したが生使一同は後、中田同能主事を開放された、右級で、一個に対したが生使一同は後、高線差極しの側に対したが、一個に対したが、一個に対したが、一個に対したが、一個に対したが、一個に対したが、一個に対したが、一個に対したが、一個に対して、一個に対し、一個に対して、一個に対し、一個に対して、一個に対して、一個に対して、一個に対して、一個に対して、一個に対して、一個に対して、一個に対して、一個に対して、一個に対して、一個に対して、一個に対して、一個に対して、一個に対して、一個に対して、一個に対して、一個に対して、一個に対し、一個に対して、一個に対して、一個に対して、一個に対して、一個に対して、一個に対して、一個に対して、一個に対して、一個に対して、一個に対し、一個に対し、一個に対し、一個に対し、一個に対し、一個に対し、一個に対し、一個に対し、一個に対し、一個に対し、一個に対し、一個に対し、一個に対し、一個に対し、一個に対し、一個に対し、一個に対し、一個に対し、対し、一個に対し、一個に対し、一は、一個に対し、一のに対し、一のは、対し、一のは、対し、一のは、対し、一のは、対し、一のは、対し、一のは、対し、対し、一の

經衰弱の新療法

るは免れぬ。

全正式交渉などにも相當の影響あ事天魄の影響内底度も、また器

ば安那の大勢は版本から一隻する

されたといふっ

その結果、

ふ。これが事實とすれ 、
第介石が北軍に使指

で。目下問題になっ になってゐる小説

けさ御着連の李鍵



はエジプト、カイロ(御見) 「エジプト、カイロ二十七日変 大時スエズ御藩二十七日変 大時スエズ御藩二十七日変

十一時場頭に向はせられて草場中で表質を振らせられた、倒鑑金後で表質を振らせられた、倒鑑金像に

議機では二十七日甲後六時三十分 よりヤマトホテルに御招待城門 が兵大性大谷島職氏等二十三名。 が兵大性大谷島職氏等二十三名。 が兵大性大谷島職氏等二十三名。

は「神田局長を大連民政権長とし 東畿内務局長神田純一氏に決定したが、右に関し木谷県長事務収扱 ので戦に喜ばしい大郷である」と され且つ最も安曽な結論を得たも

満鐡の御招待

吉省國產使用

タケ製湖、ること不可能だから。 か事業の観点は、後継を待つよ 天乘光海

子 测 午前 二時二十分 所 测 午前 二時三十分

ビン総理館では今回古林省敷府の

部の一般層店も野を並べ、各種の 会官其他官民一千餘名列席の官民 合同の大祝賀宴は開かれ、彫場一 会官其他官民一千餘名列席の官民

土屋洪院長、中谷野家職乗出し初め厚

秋川民政

海戦記念日を祝ふべく。この日 海戦記念日を迎へた旅順官民は 関の興服を賭した海戦に大勝せ

愛州等肚駅を傷め終つて午後歌門 添かに出動、陣形運動にあり水館

大時より白玉山納骨剛に於て

不京芝公園の水交社において なる、祝賀會

帝都訪問

下事げ

模擬艦隊の

鋭を選び

けふの海軍記念日

帝國海軍萬歳の

洗南丸、ありぞな丸の 原本件に ・ 本義骸氏に発し、理事求刑通り武 ・ 本義骸氏に発し、理事求刑通り武 ・ 本義骸氏に発し、理事求刑通り武

戒飭の言渡

天皇陛下 の保等を仰ぎ込に、この日天皇陛下には海戦人な祝賀舎を催して鈴木侍後長、奈良武官長、牧人で記城御川門、午前十一時五十五百名の奉迎裡に この光気ある雷時を偲ぶべく長い、海戦では二十七日の記念日で、海戦では二十七日の記念日で、海戦では二十七日の記念日 子贈い関し召され、終って福相の対象に重なで用るる熟結板と数の 降下には御小憩の後正午 位置以上に無い傾付られ御先に御到策、納休憩所にて親 配生の関連はされた

お祝 戦闘しく宮城へ選挙游はされた司三門五十分水交社を御出門御

で開かれたが出

方法院長、大職、震极雨滅鐵理路班扱、椰井湖信局長、森本地上

白玉山の祭典について

官民合同の大祝賀宴

に職へつて各官衙、市役所は自由 と領頭や戸母の副族はさやかな風 と信頭や戸母の副族はさやかな風 大連市主催の祝賀會 應所會頭、永开市助役應所會頭、永开市助役應所會頭、永开市助役

長代理司會者として
その危間百五十名、デザートコー オートバイ重突 市内でして、十六日午後四時半ごろオートバイにて聖徳小學校前十字路で、一下日大通工場員水域久様で、一下八日午後四時半ごろオートバイにて聖徳小學校前十字路で、一下八日午後四時半ごろオートがイ

大連を股にか

大掛りな拳銃密輸

被告八名、有罪と決定し公判へ

東京にて多年實験を積みたる手腕家理髪師を今回数名の手腕家理髪師を今回数名に深ふいは自己ます。に從ひまして御指命下されに從ひまして御指命下されば同人に動めさせます。

佐水木属雄八一八

翌月十六日長眠丸で拳銃三百銭、五十挺、関州一萬五千世を常権、

衞生 生生軒

電田六七二七番

三町邊

極東大會畫報

連絡し巧に其筋の目をかすめて大神行、大浦間を十数名の日支人が 金之助、四〇) 徴約はによっ 名と連絡を執り、昨年初めから後右八名は韓戸在住の山本茂峰外動船布満 稲垣屋三里

胎位
四
五
) 站茂(四八) 明に白九 太郎(三六)

即と次言の手八日終結、1

けふ身柄送局

と決定公判に附せられた

院院 | 「畑像銀門官の手で像減緩行年末, 其筋に破響され職 | 水大連地方和猛を得てゐたものであるが、昨

悪事ばれ

一葉流三萬愛の大将線を實行し莫大の長順丸でモーゼル拳銃二百挺、實

解三乙

学族を 場の一部は想ち人を以て埋められ 場の一部は想ち人を以て埋められ 場の一部は想ち人を以て埋められ

■勝軍に居軍に陸續として長 したが、黄金融式場に向ふ官 はたが、黄金融式場に向ふ官 はたが、黄金融式場に向ふ官 はたが、黄金融式場に向からない。

南よ一切の旅客を東部郡支國際は二十六日沿海州より支那 テナヤ通過の列車はがら ので、二十六日浦鹽より ラニテナヤの東方

舶來防水

リンネル製

金

和製防水

ンネル製

金五

東洋親 きの 善のタベ 手を迎へ

大魔場小敷梭では二十七日午前八大魔場小敷梭では二十七日午前八大魔場小敷梭では二十七日午前八大魔場小敷梭では二十七日午前八大魔場小敷梭では二十七日午前八大魔場小敷梭では二十七日午前八大魔場小敷梭では二十七日午前八大魔場小敷梭では二十七日午前八大魔場小敷は 時報でた と認めらるA小包郵便物は減緩衝に、以消中、入一年、人工の中味は密紙第三所掲載の「小包の中味は密紙第三所掲載の「小包の中味は密紙第三所掲載の「小包の中味は密紙第三所掲載の「小包の中味は密料を表現を表現を

白ツック製

として東洋観答の夕べが二、東京二十七日發電】極東大

ふ東京市主催で 台上 会員 ではイチー座の舞踊あり、九時学院 では、大時学院 では、大時学院 では、大時学院 では、大時学院 では、大時学院 では、大時学院 では、大きない。 比島對日本

において行は

た形である、右は野殿官派の経れ、清聖、ヘルピン間の列車のために交通巡路は、京郷は、自立郷観に向ふ旅は野農官派のために交通巡路は、京郷にある、右は野殿官派の経れ、 大會選手

すめて奥地に常電成功し、国際の大郎方に際は一番で、大郎方に際は の旅客を 氏打合に滿洲里へ向**ふ** 影漏洩の防止策? 抑留

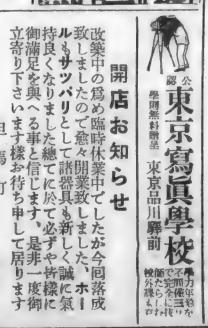
ア氏は沿海州の暴動観相調査及びほハルピンロシア線領事メリニコ の運動防止策と見られてゐる、な州各地における農民暴動の外部へ 東総問題につき本國政府と打合せ 12 星ケ浦公園の賣店

【ハルピン二十七日發車】勢

花小內 柳兒 科科科 光調用親野町館沖頭角

を発言を決

0









日支庭球組合

会ご十八日複試合 ▲二十八日複試合 本二十九日單試合 本二十九日單試合 本一十九日單試合 本 井 → 林寶華 本 井 → 和東極

世 月 五 七 月 六 日八日 間期し出賣

以下学級なし

料の薬に常置き

優秀なる翡翠

今日北京より多數入荷致しましたして最も相應しいお品で御座いま

優秀なる品……至康なる定正札にて陳列販賣致します

至版なる定価…

『『『上下』と御散策のお序に是非御立寄の上綱高で御座いますから御散策のお序に是非御立寄の上綱高を御手がある品が、

色に似たる翡翠は夏の御鞍身具用

(但し此の祭五枚にて即時抽籤)

金一百圓

商品祭

金兰十四

同

= =

_ A1

奥田

振替大連三九一九番電話八七三一番 勝計店

本店

御買上げ一圓毎に抽籤券、鉄進呈

いや御心配あるな、つまり生口はい、何かは存じませぬが」

カ、双外ふるわせて膝を進めた。 ち三酸と仰有いましたな、も、もしやその人間は――いえさう申し

「さ、お願ひぢゃ、三〇と申す年の覧は四十左右甲信の山々をわたり歩く猿の中うな男をよび出して覧ひたい」

口いづれなり、お寄せ下さるま

相を仰有られやうとも楽しもつきた路でもう三十年も逢はぬ事故人しやその人間は――いえさう申し

の間に通ると、無数とは云へや、それがしこそ」

に白木の机がひとつ、その上にことのたより酸素なのに驚いた。

すぐさま職をかけたった妖娆お力キョトンとしてゐるに

、言葉中に覚醒をうながされ

光程は失過いたしま

李段

右近殿が留守の間だけに多少のさう答へて衣紋を正した。

ものを知つてさ、選問の火を噴くお山まで登りつめ、女だてらの誘いは山まで登りつめ、女だてらの誘いがつかりなのに、せつかく危ない。こともこれが二

※ 本名三十一日、一日の附日に取った。 東の他特屋大衆師、二世場月の長頃、 大阪より米通 として昨日わざく一大阪より米通 として昨日わざく一大阪より米通 として昨日わざく一大阪より米通

▲英語講座「第六課」大連前業學校

五月二十八日午後七時 連 J Q A K

衣紋を正した。

「早速会上い

母屋の奥の間は妖婆お力が口寄

かりに、それからお前さんと云ふ い、なまなか縄目をのがれた 川の夜、御用とからめとら

杵屋正春師の

常盤座クラブ熱調日事業部の野球 小壁校底に於て行はれたが、大装 小壁校底に於て行はれたが、大装 小壁校底に於て行はれたが、大装 を演じた結果五数三にて常盤座

顔っなぎ

ジンプオ

とる藥

東京市麻布區

こゑて

間となる妙楽の説明は胃腸を健全にしまるいがき

り、血卍組の消息も大陸當りはつ をしても質へやり、さすれば根岸 い変と院んであるな似の企みも判 の変と院んであるな似の企みも判

からと云ふもの」 からと云ふもの」 ひとり問ひつ答へつ庭の捨石を へ來ると、おと

左近機が低しい!」 左近機が低しい!」

太夫福田林玉、三味編州本、大大福田林玉、三味編州本

ス「先代森御殿政岡忠養の カチ、伴奏本庄璇雄 カチ、伴奏本庄璇雄

郎が譯もなく逢はせてくれると云へずじまいなんだものねえ、五三

もいつのことやらああ

目しかも驚ひとつかけちやア質

生

(123)

ざくへ内地より取りよせた三色刷機を盛は「雕人」と決定したがわ

る帝機館のヒ

穫に成功

俵の

イキ筋に送り、盛に宜原に力を入りの繪楽書を大入袋に入れて御に

大月活「ふるさ

職室へ見つては見たがなかく に犬のらめき繋が写底を去らない 「ああ版な気持だなア、耐らん」

妖婆の家公司

反って着白に筋ばつてくる。

らして來た。と、小女が庭づたひに下駄をな

「鬱厥ぢやアない、こんな苦い思しらなだれた妖器、お誠に似た摩

いつそ突や大

大に期待の中心とされてるる。大に期待の中心とされてるる。江戸吉原連中の出演と

かるい唸きにつれて、ガックリ

お似に似た摩

20へられてるるが、既にレコード 20へられてるるが、既にレコード

一昨日の定期船で齲歯した

常盤座惜敗

憲法案式とは憲法案と云ふ一種の等は憲法案式器作法を見るに、同氏等の稍作法を見るに、同氏

行は、各方面より異常な好評に級萬歳界の花形である砂川捨丸

職座用残り組の伏見、桃山二銀は本先日來長春におもむいて居た大廉原の際際に既客は陶師して居た大

會の成蹊によると千葉駅の北田輸 南大高助氏い七石九半二升八合即ち 東大高助氏い七石九半二升八合即ち 原大高助氏い七石九半一升環、 展 場等で小脆以太氏の七石五半四升。 原本高助氏の七石五半四升。 原本高助氏の七石五半四升。 原本高助氏の七石五半四升。

太

脱心 これは 好い 御育だと 客へばひあちらへお越し下さる間」

ない、何せさへあらば……」はい、何せさへあらば……」はい、何せさへあらば……」ない、ではお願い、ではお願い たが、やがて再び冷々かまり、 りに住まひ居ると存じますが」

へその脳をもたせかけ、黙然に確なくこび掌 脳にしつかと組合せ 種めたのち、脱版*浴め、それをけ、真三再門、己が全身をはらひけ、真三再門、己が全身をはらひけ、真三再門、己が全身をはらひ

捨丸











































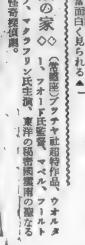








特約代理店募集





















ものと自想されてゐる

昨日本連した常鮮を飲めている。一時日本連した常鮮を

何でも御利用下さい 代解で御旅行の事は の話五五五四(大連市川 労川州)

を ・ 大時ラデオドラマ「新しき母」(・ 本律子)高木一郎(守田勘彌)芳 ・ (森律子)高木一郎(守田勘彌)芳 ・ (森律子)高木一郎(守田勘彌)芳 ・ (本律子)高木一郎(守田勘彌)芳 ・ (本律子)高木一郎(中田勘彌)芳 發免縣

六月號發賣 帝國習字速成

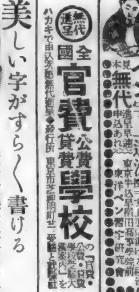


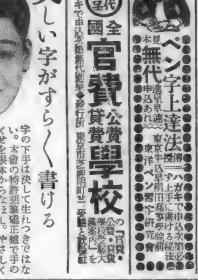




京

君」スクートン



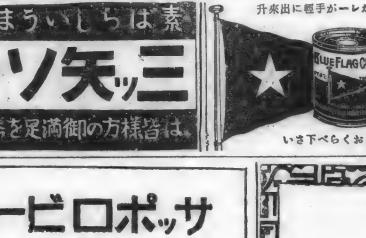


飲清 料凉

リボンシトロン







が幸福の新生涯に入





















和洋食堂開業

より和洋簡易食堂を開き













料期金量 福 金六拾錢

六時十分より十時十分まで 十二時半より四 半まで

間時演用

の

質人が求むる近代経験のより順烈なより刺戯的なそ







マ・プッギ・督監氏ドーオフ・ータルオウ・匠名



秀我 拔沙 洋得 畵意 專壇 問上 陣の

鈔票慘落の跡

十九圓の暴落

百六十扇臺に暴落し、當市は七十六圓五十銭と本月の最高値へ十六圓五十銭と本月の最高値へず七十五圓臺の保合に推移したず七十五圓臺の保合に推移したず七十五圓垂の保合に推移したで旬には、各域銀塊の軟勢に富地の大土三圓十五銭で選件という。

型と野獣金は五百六雨※へ上伸に の十九片十六分の一と眺動を報じ の十九片十六分の一と眺動を報じ

一、満州見本市に闘する件で、満州見本市に闘する件で、満州見本市に闘する件で、満州見本市に闘する件で、満州見本市に闘する件で、満州見本市に闘する件で、

付五十圓の母證據金を後收、我關哥子を眺め昨日後場五年選順引所候の信託に於ては2000年日後場五年

四十時、この養本六、七萬國を下ためはつきりしないが少くとも三

信報・ るに足る方配の調整の相當有力なM人間に於て十一般の相當有力なM人間に於て十一般の相當有力なM人間に於て十一

信頼するに足る方で産者を出した、かくて異も

取扱變更を陳情

大連經由と同様にこ

満鐡及び朝鮮總督府に對し

特産商は樂觀

一流の彈力性が强い

麥粉の取引再び

決濟に 惱む華商 大口倒産者はあるまい を控えて

は回收出来ないで低つてみ

同貫力を退は直に對支貿易の不振を招來し、我國の豪る影響の甚大なるはもとよりであるが、貨幣價值の下落と物價の品質力を追す。完全に出來るかどうか、一般に應念されてゐるが、舊年關より最近に至る銀和出の推移と率尚側各方面の豪が、舊年關より最近に至る銀和出の推移と率尚側各方面の豪のた影響を示せば左の如くである。
 日間に迫つた端午時の大震が、完全に出來るかどうか、一般に應念されてゐるが、舊年關より最近に至る銀和出の推移と率尚側各方面の豪のた影響を示せば左の如くである。

大連における延前機で観安により することになったが其後残ってる るの最入品を取扱ってるるのは契約等 る数定品中現物五十萬袋の既然 大連における延前機で観安により することになったが其後残ってる る。 昨年未既に三井、三穀、職は又もや叔三、四十萬圓の損失を 高袋が飛緩いて値下りを喧嘩商機 五 大連における延前機で観安により することになったが其後残ってる る。 大連における延前機で観安により することになったが其後残ってる る。 澁滯におちいる 観安の打戦は華商一般的で市内吳 屋も打撃、宿場を変したる。 錢莊方面も苦境

マバラ筋や薄査筋などが 多少倒産の惧れ

中産以下の商人に は、大学院であるが大学院は養金も響き、 はであるが経営者が襲るとか店の はである、低ぶないのはマバラ客であり中には危殆に瀕してある。 はである、低ぶないのはマバラ客であり中には危殆に瀕してある。 はである、低ぶないのはマバラ客で、 はである、低ぶないのはマバラ客で、 はである、低ぶないのはマバラ客で、 はである、低がないのはマバラ客で、 はである。

倒産者が多い

(イ)東京財在員等務長興に闘する件 (イ)東京財在員等務長興に闘する件 (エ)門地財在員で附属所業實 生として組合員の店員を派生として組合員の店員を派生として組合員の店員を派出しむること 、帳簿知職の改善及指導に題る件

吸資高調査實行の

の海外材料としての倫敦

新參互信品所令 品 東 1。 二 七寄現。引中引席 1 八 1 五付 場(弱合)

肋 合ル子ギ債茸トソンル 11

は大十百百十一百同一 用四二五十十八七十二現 トナナナス六 三七 さい一般的ななない。 二九九十三市三商

安賣好きの市場の 3 たの 表面で、 とこれ

S日均得意壇上

資金子校本菜三郎入 が華々しき映画への進門。 四郎門トの後す。

| 対極太郎・翌月禮子共演 | 後

人社第一回監督作品、アクナマクナマラ氏珍貨・コーコーエン氏珍貨

心監督 七零時

肿尸豆粕

載連日朝間週 作原子犨原頻蓮白 七正

店駅に多く出るだらり、然し日本 も相常な歌に上るらしく孫に小■ れる はまな歌に上るらり、然し日本 れる はまない と思はれる は は一流の堅いものが多いから

今日の相場

况

倫銀またり 有史以來の安値 出すやうなものは先つないと

は回收出來ないで独つてある。一時山東方配からの移民の激増で有野が金搬ひで約二部になつた副子配の方面は市場方面の方面を見の激増で有い小賈商方面は市場方面の方面を完成。無影響を開かる。 地勢低いを開発 は一場方面の方面は一場方面の影響を開発 は一場方面の方面を開発 を開きる。 大きないでは、一点のでは、一点を使いるでは、一点のでは、一

十八片四分一に落つ 上海為替市場大混亂

オヴペー・十七五四・棉

當市同事

常盤座

ハム・ソーセージの外に

奥地市况(世上)

がいた。

自己に

正版金

質はは、

対画解

41.

特作時代前額映圖翻線原本

ら屋花

昭和四年十二月 「日本の 「

ツニ十片の大陽門を割り十九片十 安値へ監察したが、雪市では開時 中國八十艘と小屋し、小部保合を 上した、其後畿塊反緩氣帯へに標

方の下郷に寄付いた、五日ロンド島階にて七十圓丁度と三個十五銭

船跡にて七十四丁度と三個十五銭を直銀場市場の「寒凌退、供給過 特別報程に六十九個八十五線と打 九個九十級と上側した、其の後無 九個九十級と上側した、其の後無

近の海選界し

引寄引寄鬼.

北事場線に付

八段

計物期式 出來

一、三〇〇枚

前門正場市町濃信 奇三四三八話電

一手配給元 佐 々 木の

Œ

廉低

加入案内あり贈呈

果京京橋 第一相互館



(6) 職民 後藤朝太郎 明 聖藤田元春 **货户田英治** 藤原茂樹

3 原色版 3 優地域の大変に対している本社関特の人名では、 4 立体模型 個人民政治域の大学にというでは、 を表現したでは、 を表現したでは、 を表現したでは、 を表現したでは、 を表現したでは、 を表現したでは、 を表現したでは、 を表現したでは、 を表現したでは、 を表現した。 を表現したでは、 を表現した。 2 1 北海道·樺太篇 東海地方篇 東海地方篇

各根金二個八十錢

陸篇

大系第六回配本(新版)

り分賣す。 水流に限 湍 界地理風俗大系第十四回配本 るいに致

局住小正今後 (日本) (日本 П 日外日陸女子 漢語第項學 溶射認致博 合设合官士爵 山人深界集田 內杉是 层中 明 針質問 熱服 介利行多職體

华因坊秀战学

會員限定 回拂

限定部數五千部に達したる時は即刻が切り御申込は早いが勝ち、最寄書店へ速刻申込め 限定数に近づく! **グリ日日前と** したる 申込は 一時構の場合は申込金不要にて金十四回

平 して有段者の爲にはもとより、初學者の爲にもである。本書は布石上基礎知識から懇切に知るが明光を全局に注ぎ、遠大の策戰をめぐらい。本書は有石上基礎知識から懇切に思い。本書は基譜數百圖を掲げて三十局の互先布石法の研究。 配第二本回

圍碁實戰軌範 互先定石下 布石上 石法 石

配第四本回

四二

布

配第三本回

互先

配第 五 本回

配第六店回

1



きんこす即刻書店へ申込まれる

と特典を制する限定數は刻々盡

本因坊名人が 即日素晴らしい反響である。機會 内容の權威と相俟つて果然發表 傾けられた國賓的大著!然も名 八自ら一々肉筆署名さる「爲め 神の如き棋能を

兵力量決定

満解決を望む

主力軍は相當の損害を蒙むる

蔣氏逮捕説は疑は

東の禹城地方にあり蔣氏が韓軍のため黙事して豫定の如く坊を察せず二十五日以際の民族に出で昭順的に出た爲め南方軍(は迷に支へ切れず歸德方面に出れて一齊に總攻蹶に出で昭順的に出た爲め南方軍(は迷に支へ切れず歸德方面に増加る)を除職なくされ南方軍の主力が相常損害を築ったことは事實のやうである、たほ韓、吳軍の禹城地方にあり蔣氏が韓軍のため黙事し 「したが北方軍の二十六日來常地に遂し

山東の禹城地方にあり蔣氏が韓軍のため逮捕されたとの訳は 北平は戦勝氣分 つたが車馬、自動車で旅客郵便物 浦線列車はガラ窓となり扇三日内の通行をも禁止して了ったので強と、入議員の際限を呈し始めたに發展し二十五日より扇道は旅客 入議員の際限を呈し始めたに発展し二十五日より扇道は旅客 入議員の際限を呈し始めた

企業整理統制と

諒解方法を考慮

【東京二十七日の閣議の決定を見たて報職中の職務の決定を見たて報職中の職務の理化局の官職窓

政府の方針不變更の範圍で

國産獎勵が必要 俵商相の演説要旨 起くため首相と開墾において會見 二十七日午前十時開鍵に出版した るも海運記念日祝賀にて水交社に のまたのでは、1000円のでは、

政府飽まで强硬

「無いた」というでは、 「無いた」というでは、 「無いた」というでは、 「はいた」というでは、 「はいた」といっというでは、 「はいた」というでは、 「はいた」といった。 「はいた」といった。 「はいた。 「はいた。

一、軍令部との交渉經過現状の加 自当の召集は已むを得ない情歌 にある

基礎的調查 極東大會選手につき

X·共產黨支部

相郷席)隣口首相より、凝したが、中前十時閉館(宇垣、た郷街に終七日發電】二十七日の「と郷街し、

きのふ闇議にて決定

忠勝局長官は政権会議に財産を過程して、職場を定は政権会議に財産

川崎法制局長官語る

廿六日在奉社員に訓示

夜は有志招待晩餐會

抑留支那汽船 配層新絲落或記念

本日の總倉で決定した 東京二十六日發電 日本高工会

產業合理化局

、田午後一時より電機調査が監督 大日午後一時より電機調査が監督 を開き前回に引続き選兵職、兵器 を開き前回に引続き選兵職、兵器 を開き前回に引続き選兵職、兵器 を開き前回に引続き選兵職、兵器

軍制委員總會

日本商議

會頭推薦

こ、印刷所機械更新增設ハ、紙面刷新大飛躍の、満日型超高速度輪轉機増設

永田秀次郎氏

東京市長第一候補に推應するを決合館は元東京市長級田秀文郎氏を合館は元東京市長級田秀文郎氏を「東京二十六日発電」十六日午後 はるびん丸船客

船客左の如し ・ 大連減輸部出張所長佐藤 ・ 大連減輸部出張所長佐藤 ・ 大連減輸部出張所長佐藤 ・ 大連減輸部出張所長佐藤 ・ 大連減輸部出張所長佐藤 ・ 大連減輸部出張所長佐藤 連入形像定のはるびん丸の主なる【門司特徴二十七日数】廿九日大

では生れてポールを では生れてポールを では生れてポールを では生れてポールを ▲賞名海堂氏(磐家) ご十七日ば

大京 株式(2万) (後編者) 後編者 後編者 (2万)

九不不六五四六後 〇二十四六一場 〇二九十

定期後場合用位約 新行高值安值大引 一時半 空間 111000 1211至 115年半 空間 111000 1211至 125年 111000 1211至 115年 11500 1211至 115年 25日 111000 1211至 115年 25日 111000 1211至 115年 25日 111000 1211至 115年 25日 111000 1211至 115年 25日 11000 1211至 115年 25日 11000 1211至 110000 1211至 110000 1211至 110000 1211至 110000 1211至 110000 1211至 110000 1211至 11

現物後場《銀珠》

がいってあるが、登黙なく病状ない。 特に中村軍戦にを火酸せしめたが 特に中村軍戦にを火酸せしめたが は、この後になるので昨今は多少ない。 のほとなるので昨今は多少ない。 のほとなるのでなるのでなる。 がであるが、登黙なく病状ない。 のほめ、 がであるが、登黙なく病状ない。 のほめ、 がであるが、 を対している。 のであるが、 を対している。 のにないる。 のにない。 のにな、 のにない

藏相の演説要旨 銀行大會における

局

社會奉仕部設置

表等は憲法の帰釋に就ては代府 側の主張を是認するものである 政府は軍会部長の辞任を見るも をの所信に為誰すべきであつて 問題が如何に紛糾するものである 政府の見解は闕民に是認されて あるのであるから簡乎として進 めば政府の所信の如く問題解決 といふに意見一致し正午散館した

イ、在滿陸海軍諸部隊及在滿警察園へ慰安娛樂器具寄贈 以て『喜学祝』に因み記念品を贈り表彰す 以て『喜学祝』に因み記念品を贈り表彰す

なく記念品贈呈

大回遊會

組合としての苦衷

先づ人物と機關の合理化を

●入租合理事 横田提壽氏談

音等C曲

14.1

へ商助が核心となつてゐるだけ、

一般に立つ網路としてはかなり 第一級に立つ網路としてはかなり

育を先にして邦商を これは

「輪入 組合が此の町に産れ

じ張宴する

見ない▲これは一般銀安のため現

市民協會評議。曹

0.70 mag-10 mag-10

利

一氏が濱任した

氏は芝栄に轉動を命

それで

も機會ある毎

日午後七時半より會長宅に開催。信託なよび會務報告での開催。信託なよび會務報告での開催。信託なよび會務報告で

金融組合

午後七時半より小學校に於て開催中野工蹇職師の職演館は二十八日

四時まで開原消防艦にて施行する一日まで四日間毎日午後一時より

大震三郎の三氏は本月入日命を受いた、際に御子八郎の三氏は本月入日命を受いた、際に御子列車運転となり、殿下の一路を開きなり、殿下の一路を開きなり、殿下の一路を開きなり、殿下の一路を開きると共に囲きを踏った、際に御子列車運転といると共に囲きを踏った。際の三氏は本月入日命を受けると共に国金を踏った。際の三氏は本月入日命を受けると共に国金を踏れて日命を受けると共に国金を認れて日命を受けると共に国金を認れて日命を受けると共に国金を認れて日命を受けると共に国金を認れて

新 今小三小中曾 高 7.62113459 8

十二百五十年御聖忌を置むと

P

大策防注射は二十八日より三十

四平

街

選事良氏の4電に接-電行政長官張景惠氏は

氏は一兩日中藩

でするでであるが近頃は念入りであるが近頃は念入り

大北門外の藩海市場では市場振興のため附近空地に野天舞鷹を設けてあるが非常な賑

萬元も反占同様で意識省の消貨と

に像落し後場は出來不由

演藝會

ふ公會堂にて

田舎の際々まで見か

が六百餘名の軍人遊は無かし滿足が六百餘名の軍人遊は無かし滿足を監問の演響館は今二十八日午覧際原間の演響館は今二十八日午

空巢狙び出没

版下では、 でので目下支那官派に於て班人際、 さので目下支那官派に於て班人際、 でので目下支那官派に於て班人際、 でので目下支那官派に於て班人際、 でので目下支那官派に於て班人際、

十六日午前二時項銀西管外價軍

七人組拳銃强盜

村長宅で一千元强奪

郎氏は常務を謝任し収締役とし減豪毛織曹社常務収締役飯繁粋

一大日正守を抑し全農民集合して だ暦種を爲し得ざる獣農薬は窓に サ大日正守を抑し全農民集産は窓に

観民會長衆氏も出席心からなる前 大雨空の前りを捧げる事となり観

日に同野者を指待し帰職関としたので二十五日(日野 製造 した、午後一時間本三段の修設式に大で加藤三段の矢護式をりして、午後一時間本三段の修設式に大で加藤三段の矢護式をり同七時過ぎ加藤三段の矢護式をり同七時過ぎ加藤三段の矢護式をり同七時過ぎ加藤三段の修設式をり回七時過ぎ加藤三段の矢護式をりたなり同七時過ぎ加藤三段の矢護式をりたなり同七時過ぎ加藤三段の矢護式をりたなり同七時過ぎ加藤三段の修設が明十二等伊藤二段、二等借間、四等同井、大田田下初段

路上で火事

●ものを、同日午前十時頃市内 奥平方では背渡服外二十四週の 奥平方では背渡服外二十四週の 東平方では背渡服外二十四週の 四十週の自轉車を、東二條通神 四十週の自轉車を、東二條通神 四十週の自轉車を、東二條通神 の表さんも同日午後三時間時 個正株式さんも同日午後三時間時

普蘭店

池田支署長訓授

萬安に招待し祝賀の宴を

語話し記貨の変を催し香月 招待し記貨の変を催し香月 から視離を述べ郷太氏の謝 から視離を述べ郷太氏の謝

太氏の光栄を我事のやうに喜び説

日大通東部物産館棚上におい

支那街の火事

郵便局長は官舎選手に弓道場

加藤局長邸で

福順のコソ泥は依然跳楽を極め二

庭球と野

來月中旬と下旬に

金

コソ泥四件

七戸を全焼す

間につき来る。

を質したうへ更に協議を経て出鉄

なほ

きかの疑ひあるより、これが誠地大連側と誠実せしにはあらざるな大連側と誠実せしにはあらざるな

発にて出製師賦すると

ノは木村氏で歴況であつ

射場開き

二十日第十八四車十七時三十六

鮮農達の雨乞

播種が出來ぬ

火へるため開展の機備を急いであ

大歡樂場を現出

爽かに

香月旅鷗長以下乘馬隊参加し

び原田理事の居宅とし

たが聴業定刻より多量詰めかけ滿 を示すやうにならないことを認むから公會堂に於て盛大に開催され テ現準票が興率天票としての相場全補清元演奏音は廿五日午後六時 貨の如く使用されて來た今日セメる しかし現準県が殆ど現在の通る

廿五日過率 大成功の龍首山野遊會

●多田第十六師園を謀長

こ言ふスコアで現役軍隊敗した

父兄總督を閉艦した出職者二百十六日午前工時小學校講覧に於 小學校父兄會 大石橋

とと活躍の尖端を行かねばならと 機関の合理化により、近代的で常面必要なのは人物の合理の合理化により、近代的

金の準備として來る六月十五日日金の準備として來る六月十五日日

口海城神社水前に於て馬術競技

馬術の競技會

來月十五日練兵場で

てもよいとは思つちよるが、 研究した上での.] と能本籍での説明 から特殊は二倍の貸出を三倍にしに上つてゐる、大半は中堅商人だ

て人の交錯である

員家族會

ウンデーションだ組合としては其の町の有する使命を遂行するファの町の有する使命を遂行するファ 内地との収別紹介に努力し、内地の意味に於て出來るだけ組合戦と のである、勿識、需支商主義は考慮 とする、然し郷商の存立を必然的 に意感せしめる需支商主義は考慮的 に意感せしめる需支商主義は考慮的 **発性介までされちや野人の輸入商** れに手敷料も微弦せず、西翼の収 れに手敷料も微弦せず、西翼の収 はあがったりとなるのが當然であ

陳列館の採算を切り 形式

者は勿論統一戰線こう・しい、然に陳列鹿、商職組合の三

々系統の異った機関の唯一化は 配りない場合があるのだから却

組合ですら利害関係が

から混合があるとそれんへの向トに直に脳部し、露支商への案内は必ず郷面の手を優でから行ふとい

つめた原像公表が、

(個) 選手五組づく出席、七回ゲームの (本) となり已むなく試合を延期し午後 となり已むなく試合を延期し年後 となり已むなく試合を延期し午後 となり已むなく試合を延期し午後 となり日かなく試合を延期し午後 株井 師郎 長を始め山 副飯事、長 を持動脈長郷歌五十周年記念に のでは、一般の 術らず提緻者側の激陽は何故か近 よりこれに養成の意を表したにも よりこれに養成の意を表したにも 五十周年の 記念就宴 憲兵分隊に 龍岳城、瓦房店六ヶ所の庭。除事會に於て決定せる昭和四年能出地とする鞍山、大石橋。除名伊藤父兄會長開會の跡を述 決勝戦は延期す で宴に移り 優勝軍は鞍山、瓦房店 廿五日の州外南部庭球大會 郷深教師の終野ありて午前十一時として金嶋懐中時記贈呈を決議し 一十五日午後十一時ごろ鐵道夏支 一十五日午後十一時ごろ鐵道夏支 一十五日午後十一時ごろ鐵道夏支 一十五日午後十一時ごろ鐵道夏支 一時ごろ鐶火したが、破火原内、 一時ごろ鐶火したが、破火原内、 一個大門所服の活動によつて七戸を 全嬢したのみで翌二十六日午前一 でいる。 て行はれたが現選手の中駆所に続いり、勇)現役出原、西山、佐野に り原郷可決、學校長の検討後大正次算深告並に江年度像県協議に移 十七時卅六分發 備隊滿期除隊兵四十名は來 中堅處に不參 現役軍 大学の様せる 對楊善軍の野球戦に

出総氏の實職講話を見蔵に融講せ 配念日當日午前八時二十分より左

小學校にては二十七日の海軍

海軍記念日に

口に入り強火したもので小火で湾

無事大任を果し

歡喜の機關區員

秩父宮殿下お召列車

安奉線運轉を奉仕

質戰者講話

中の中央大衛郷祭前のコールターの電柱に延旋、大麻ぎを渡じた、原因は降石の上にコールタール撒行の路面火事から墨表立廠前の上にコールタール撒行を発表する。

多く 蹴さる

を組織することゝなつたが、主要。當地有志の競起により乗馬クラブ

薬馬倶樂部

情性し 日向氏の質母、要女の如きは氏が命を受けて以來毎日未明に安夏神社に懸揮して所願したといふ涙ぐましい美談もあるしたといふ涙ぐましい美談もあるのなく記者が機關層に日向氏を訪らなく記者が機關層に日向氏を訪らなく記者が機關層に日向氏を訪らなり記者が機關層に日向氏を訪らなり、

一周年記念

一トで行はれたが左の如き成績を一トで行はれたが左の如き成績を

楷倶樂部慘敗す

則左の加し

、會員は毎日曜日に海

大任を果し得た事はひとへに殿 下の御威徳と神冥の御知識とに ける事はひとへに殿

語とも言ふべき「明るく正しく、 を を を を を に の三態を に の一地たる 自治、 誠等、 率 仕 を に の、 に の 、 の に に に の に 。 に の に の に 。 に の に の に 。 に の に の に 。 。 に 。 。 に 。 に 。 に 。 に 。 。 。 に 。 。 。

二十九對十一の大スコア 現 出佐吉有西 大清村役 原野野川山 石水田役 原野野川山 石水田

東の山野球部の鳥め心細い、本選手の山野球部の鳥め心細い、今後練習不足がある無脂野球部の鳥め心細い、本選手順野球部の鳥のと言いかも知れなが、今後練習不足の本チャンが出揃っても秋は知の本チャンが出揃っても秋は知の本チャンが出摘っても秋は知の本チャンが出摘っても秋は知の本チャンが出摘っても秋は知の本チャンが出摘っても秋は知の本チャンが出摘っても秋は知いた。 野球シーズンの絶好別に他のチームよりの試合を拒絶する事は経する事はといる。 歴史ある標脂野球部の誇りである。 た多か本昨今絶好の野球シーズンを変更、長春の各業権 とと変表して、大概に対している。

なかったが、近世 長は左の如く なかったが、近世 長は左の如く

殿下の御寫眞

謙譲な

瓦房店警察署 熊岳城

語った

二月頃殿下御米満の御事を洩れ

元元の命令を受けると共に區員一同論んで此の

大任を果さんと響か、本月八日

正式の命令を受けると共に延員一同論んで此の

たのであります、而かも率天出

たのであります、而かも率天出

たのでありました事は一に全區員の

が出來ました事は一に全區員の

が出來ました事は一に全區員の

が出來ました事は一に全區員の

が出來ました事は一に全區員の

が出來ました事は一に全區員の

ひ出たところ、幾下には早速御聽 個附武語を通じて御寫腹膿影を聽 他置より約二間を隔て、順下の御 回の光榮を永久に記念せんがため した次第であります、殿下の御 した次第であります、殿下の御 した次第であります、殿下の御 した次第であります、殿下の御 した次第であります、殿下の御

明成直列ルルところ、関ルシンでも大きれる。 要い湖命を拜し夢かと許り恐懼した次第であります、殿下の御した次第であります、殿下の御位置より約三間を隔て、御正置なりません、出來上りは四ツワプロマイドに常着致しまして別プロマイドに常着致しましてとない一門の光菜と螻荒して居ります。 光榮の人々

たのは横瀬堂相直次氏、御假泊中たのは横瀬堂相直次氏、御假泊中を押し 御像泊に際し殿下 11十六日午前七時監察公司都内信 11十六日午前七時監察公司都内信 11十六日午前七時監察公司を置め 11十六日午前七時監察公司を置め 11十六日午前七時監察公司都内信 11十六日午前七時監察公司都内信 11十六日午前七時監察公司都内信 11十六日午前七時監察公司都内信

補銀新支店長端木秀太郎氏習氏

安東守備隊は過日株交宮殿下御瀬の軍人に続し二十四日正午より同の軍人に続し二十四日正午より同の軍人に続し二十四日正午より同の軍人に続いている。 三四五

を拜寫の光榮 淸水貞次氏、領事館の依囑で

公司構內小火

のため停電するのため停電するのため停電する

生徒が増收容される 生徒が増收容される 生徒が増収容される

三十四名は二十

穀州八一名、昌城碧蘆三七名、楼新嶼州第二守備隊管下の除職兵新

橀

にが頗る盛會であつ

場に起き耐名を設めした 場に起き耐名を設めした

石部上等兵表彰

一十二日午後四時五十分ごろ新妻州署を隔たる鴨緑江上を通航中の安東を隔たる鴨緑江上を通航中の安東

星巡査の手柄

顛覆船乘救助衛附金を撃勝する事になった

安率線五龍門盛泉も現在經常者た 日限り所確本社の良管となる事と なった、お清女將の手を離れ五月三十一 なった、お清女將は名職情げに語 私も今年で十一ケ年間營業して が出することにな が出することにな が出することにな が出することにな が出することにな が出することにな が出することにな が出することにな がはずいのであることにな がで思うません、後任者は 大連から参りますが何しろ十一 ケ年の間深山のお客さんに復動 かので思うません。私は失張り がい考では、ますと ので思うません。私は失張り を関して見たい考です、今後とも

新義州第二公立普通學校記述 世世後一等より普通學校記述 世世後一等より普通學校記述 世世にで見し學校新樂賞、密附金 と共にで見し學校新樂賞、密附金 と共にで見し學校新樂賞、密附金 と世にで見し學校新樂賞、密附金 と世にで見し學校新樂賞、密附金 と世にで見し學校新樂賞、密附金 と世にで見し學校新樂賞、密附金 と世にで見し學校新樂賞、密附金 と世にで見し學校新樂賞、密附金 と世にで見し學校新樂賞、密附金 と世にで見し學校新樂賞、密附金 と世にで見し學校新樂賞、密附金 と世にであったが二十四 と世にで見し學校新樂賞、一般に とのなり、一般に とのなり、 とのなり、

五龍背溫泉

なは常日は別歌に生徒成績品を陳を願ち来夏に茶菓の饗應があった 設立資金募集

◆… 第一回に慶應が勝つたのは 全く稱電上りの山下が、暖島い離 全く網電上りの山下が、暖島い離

本のヒット位は出したであらう。如何にスランプの慶應とは言へ五

た壁の登場なるのであった。これ

で止め様としたが不可

の方が驚くたるヒット、エンド、ト五本、配もそのヒットを吟味するならば富沢君が居ないはめに、代つた島田のエラーに属するヒットが高めに、できたいない。

は二度ボックスに出たが二度とも は二度ボックスに出たが二度とも は二度ボックスに出たが二度とも

ライで二點を光点した。七回目の 変した、次いで、井川の四球、宮 の二輪打、水原の右翼への編フ の場で、水原の右翼への編フ

プロを呈した。三殿森は先づ二殿へ小川が眺田に代って出で、三殿へ 小川が眺田に代って出で、三殿へ 小川が眺田に代って出で、三殿へ

になひの三安打に

▲乾器池の作り方

の日を贈り、殊に自國の運化には別の大理化には彼等は何れる驚き

その儘の気がする

勞農政府に抑留

西洋浦島

された當年の勇士八十名

十六年振に故國へ

カル湖畔を出致した、プ

できるからからなるからいるいないないないないないないないないないない

社の連中になめられたのも無理 も常識もせない。 関の時は文潔器挑談に縁棋の速 便が文潔器状態を改めるつもりで関の時は文潔器挑談に縁棋の速 便が文潔器状態を改めるつもりで 大を平手相限りと中飛車で三番 菊池寛君の將棋 三文藝春秋社同人との對戦記』

東京で 岡部 平太

文感情秋の御大、金天間でも50年で、東て「館とやらう」と云ひ出した 者は二酸と云ひ、 出かける。 佐々木氏とやらうとして居ると

樂部の機販將供御一同の面目にも連続答の配目――少くとも社員供

の悪さを示した。早稲山にとつてへた趣、山下の足は軽く、薬の耐

恒下断行大廉賣 商業生地見太無代進品

大流行のろざし手藝大流行のろざし手藝材料卸商



The NEW ESSE

街頭連連大 製野西



新エセツクス着 チャレンデャアー

1930年式 再びチャレンデャアー

立派をチャレンディー 穂ての品質に於いて這車の所有者は最も高貴な譽を有 大なる威力と一快速力一圓滑と一長大 廣々とゆつたりとした座席の充分 なる事―外観―細部―操作の新規なる事!! 大型車の廣濶と安樂を以て皆樣方 の興味にチャレンジします。

夫は大きく見え旦つより以上事實上大きいのであります。二段落し骨組はボディの高さを低からしめ然して座席と車内 の清潔を増加せしめました ボデイは非常に関々と堕席がとられるが故に すがすがしい気分と確然たる形態を異へる

機能する時は直ちに加速変がつき 立即に使いて最大であり 坦×たる直道に於ては非常に極快であります エセック? ス臓は之等の事を易々樂々となし遂げ カーには少しも無理な努力も要せず 又カー候業者に取りても少しも神器を興 着せしめるが加きことはありません 常に欲するまとに自由自在の速度が得られ 如何なる程度の操作にも非常に経療 的であります。

安全と安幾郎も異個と乗車の安樂な醂に於て異訳な性能を保護するところのローダピリテイを有するのであります。 大なる動力と関係する機能即ら大きなクラッチを新しいギャーボオクスそして新しい特異點を有する全モーターに亘る は良は顕著にして且つ完全なものであります。 エセツタス機体上記の知さぎに於いて他車にテヤレンジすることは恰も價値に扱いてデヤレンデすると同様であります。

大連市山縣通二十二番地 電話 8751

此で容易に歸國が出来ないらしい 校の旅祭を送つたが勢農政府の間 校の旅祭を送つたが勢農政府の間

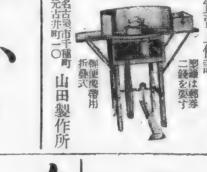
三强いつれも緊張を缺いだ 慶戰餘談

つた。觀ひ一式は質にいやなものらしい。若し は 理をして投げるから、つい日東になってしまふのである。 なつてしまふのである。 四球で出すか、不得意の箇所へ無常れば必ずヒットになるのだから

の二級打が一つ、図も早稲田のトースから云ふと早稲田には三殿打 のる。その遊は極く二本で

高火ではないかと云はれてるた。 事態が刺刺した▲木棚の附近に都 事態が刺刺した▲木棚の附近に都 職人に選任を負はしめんとしたも し、去る十七日夜木間に放火し君 とすれば富然季氏は自分等の手に

造谷 發



れだけは大道でも夢ぶべきである。早屋戦とでも言ふのが此の歌の

實賣上保證十五圓以上三十圓迄確十五圓以上三十圓迄確 本機は本衆文副業に少貴本にして「名電氣倫文は結婚」「名電氣倫文は結婚

な下劣な強次はなく、投手の投球得る。時々大連のファンに見る!!

にあっても、投手がモーションをた。如何に嫌援がクライマックスを返惑せしめる様な両犬はなかっ

は本態を陥し入れ、決勝の一點をれを後進したのである。殿足山下れを後進したのである。殿足山下

見事な、且つ理想的な應所と言ひれて、野諸剛味より云ふとつまらぬた。野諸剛味より云ふとつまらぬ カタロ ク 孵卵器

連商人の顧客に對する

假母器



夏の …海水浴 … 避暑旅行 … 山遊び

思ふだになんと愉快ではありませんか……。 此れ等は洋■から生れた腸だ……洋服は坂本から…… 坂本の洋閥は蕭心地が良くて・活動に散步に好みにも 合ふ安質で親切だからね…… 坂本は常々斯業に科學的研究を重ねつゝある現代洋服

裁縫の創造技術家で熱心だからね…… あ…そうかでね 洋服は坂本へ決めた! 君…一寸坂本洋服店を呼んで臭れ給へ、此の度の旅行 **宿は阪本にするから…電話は7020番だよ**

0

御用

滿



理



003 のののの日 は 時時時時 活のののようの 0 時時時時為

ヲヂオ英語講座

(大連放送局五月廿八日午後七時放送) 講師 大連商業事故 上村又一

(第 六 囘)

Situations Wanted Female.

Secretary-Stenographer, desires position where initiative, efficiency and executive are essential; excellent stenographer, rapid and accurate; last five years in office of advertising manager of leading daily publication; good advertising back-ground; attractive appearance, good education; age 23; capable assuming duties in absence of executive. A 1029 Times.

Household Help Wanted-Male.

Gardner wanted, experienced, responsible married man, to run 18 x 30 greenhouse, do general gardening; one who is clean, neat willing worker, to take an interest in estate, New Rochelle; to operate Buick automobile; live in 4-room apartment, with bath, over new brick garage, heat, light, Frigidaire. Telephone Columbus 7640 or A. L. Newton, Buick Motor Co., Broadway at 55th.

Furnished Apartment.

70th 155 West-Three luxuriously furnished cheerful rooms, 9th floor; Block from subway or elevated; grand piano, radio, Frigidaire; leaving suddenly; sacrifice; occupancy immediate or May 1 Phone Trafalgar 9068.

























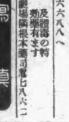


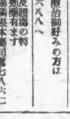


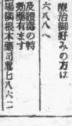
のみのコバケ

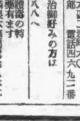
され

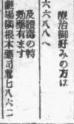
から

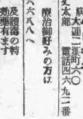


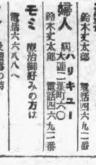




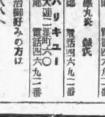


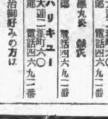


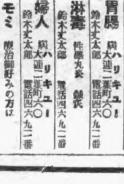




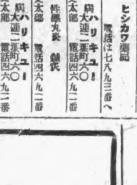






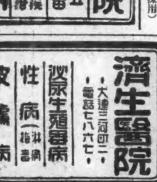


幅























月五年五和昭

年乳 なら 大正敬場 伊勢町人電七七七二・九四八四 一手 ロバン 電話六六六〇 一手 ロバン 電話六六六〇

火事。用意 東京本部 大連市二番 1 0四 世田式防火装置

事門のヤナギヤへ 大連市漁港デベート内

牛乳

東語四五三七番

電呼出七八九二 電呼出七八九二 大 野城町四七番地 大 野城町四七番地

にんしん 按腹 乳をみ其他腰痛手足の痛む個方は は御來堂下さい パリ灸マッサーシをんぶく 大連市美勝町二五電六六八八

引越情物。 た東京の通り四十七番地 大連市寺内通り四十七番地 大連市寺内通り四十七番地 大連市寺内通り四十七番地

英文 没邦文タイピスト生短指 楽部通九六北側裏

邦文 タイピスト短期業成

女給 に三名 芸魚 八川 二三名 芸魚 八川 二三名 芸魚 八川 二十 建位 大連市信息 町八七 大連市信息 町八七 ・ マダ

金

小寺藥局

在無形及現像維付引延して無形及現像維付引延し 有**社員** 持 希望者は午前中来談 希望者は午前中来談 大連市電号町五 大連市電号町五

一般特密機械、設備光度

此印に限る

大連市響城町丘人

電車 外型 所 制 開 一 〇四七

(118)

チ









照に一

大山田の中の地震電話六一六一の中の地震電話六一六一

(現人火治療) の爲なやむ方は御來宅下さい の爲なやむ方は御來宅下さい 等日町十一向陽門停留大タク前 禁水鍼灸治療所電七八五〇番

欧マツサージ院

通勤家政婦

水 商品切手 影 用 · 凡



薬及治療 二所會、電七九九三大連市大連市

・ (男女研究生)、二名採用) ・ (男女研究生)、二名採用) ・ (男女研究生)、二名採用) ・ (男女研究生)、二名採用) ・ (男女研究生)、二名採用)

うるしぬり 新朝・修繕・ 金替 大連株器 ・ 東東東東東 田)五七九四番十三番地 新一种 数 作 所

大廣場校 保護者聯合運動會

見童合同の樂しい運動會を開いたが「

三は聞もなく、散覧の色を励て押をかなに遂、腱を聞はせてゐた

院医原桐

一九二四語電

明規定書送ル

自

▲上温に

かし、花子のことも考へてやら

安康り切つても切れぬ親子の骸が一なかつたのである。女に黙して強いてゐたが、それは この父に黙して感じずにはゐられ

由良子は言はらやうなき僧歴を、ある、その言葉を聞いた瞬間、

大妻夫を 保っにも、安産の秘訣も 帰人病をすっかり治す 中將湯が最も合理的です

から陳親にお別れになつたと見えでは由良子さんは、随分がい時間になった。

(六)

職三は額の汗を拭ひながら、なるべく由臭子の方を見ないやうにしながら、さう問ひかける。「それが、全く偶然の事なんですよ。この人―」、曲良さんが城いよ。この人―」、曲良さんが城いたとですの。いつ謎から数へられたとはなしに、由身さんはその背景鑑 伊藤幾久造畵 正史作 (100)

(19) 僧

にそつくりなんですの」 現れたあの死美人が、その背優酷 の方が、お母様だと信じきつてあ

THE PROPERTY OF THE PROPERTY O

次の急をの

症状の方は

八四二十七三試 十十十五 五日日日 日日日日 分分分分分分分分

圆圆圆圆旗线线

++

(4) ⊙實印

236000

あるのだらうか。早まつてはなら なし、この女はその事を知つて 一般にも自分たちを結びつけてる

ス ロ <u>綾</u>里 伊勢町側鈴木吳服店時から御 ライト寫真館



天演 里川與兵衛商店 カラシ・コショ

全色の白く

▲色の白くな



治お

四つた天下の名楽が祖父様もお父様も 軟坐 膏藥

11-19 小児科

の目的を塗する最新樂手軽に幾に迅速に治癒

電照六〇五〇番

二章

舖

支本津

村 順 天 堂 電話日本橋空振響東京六〇八 電話日本橋空振響東京六〇八 丁目 東京市日本橋區通三丁目

自 E

H

發賣元 朝 製藥株 式會社









本第一回 - 不後森川園 - 不後陸四球を得たが馮の遊桐 - 不後森川園 - 不後森川園 - 不後森川園 - 不後森川園 - 不後藤四球を得たが馮の遊桐 - 不

展東京二十七日曼電 | 極東大會銀四日の二十七日は朝來どんより級つてゐるが競技場では午前十時代より中等歌校生徒千年後一時には秩父總裁宮殿下も御臨場。中、比歐球戦から混立後の歌様とソス等が行はれ、「東京二十七日曼電」極東大會銀四日の二十七日は朝來どんと、「東京二十七日曼電」極東大會銀四日の二十七日は朝來どん

0002000103

井逵井林

各競技を御熱心に台覽

以試合概過左の如し、雨軍メ

秩父總裁宮殿下

9 失策 1

日支フアン

お目見得

章遏

雲が

宣傳方法きまる

記

念

廿六日關係者會議で

卅一日から三

日間協和會館で

本社主席

惟の觀劇會

Gせて下さい」と撥篙車等 の正午各電車、乗合自動車 のに配布すること

日比試合結果

日本野比律賓庭珠蔵は午後一時中 鳴打 六 一 五 アラゴン 千六百米 是不

日本は第一指 一着 日本チーム(石原、西、 ・ 市田、中島)三分二十四秒二 ・ 市田、中島)三分二十四秒二 ・ 市田、中島)三分二十四秒二

體育獎勵

的

現代支那の名女優、致湯霊の楽連 2 天頭のの美音を観響にして 北平劇壇

を傷へ、或は女である間めてとと云ふ事情にあるとき、そのに 跳しては、現代老生衆一方の脚 せることであらう、尚章の出 は、如何に日支ファンの血を るものである。梅温等を大連に巡 以上の味さへ出し得る彼女の 園熟を加いたく に花を添え、それに二三の票友へ もし、その他李鵬山、楽毬亭、ニ サ丑などの男女優が紅紫とりどり が時に北平から助説に来

するものであり、また支那酸中で開緊等々々:電が得意中の得意と 連始まつて以来的既を呈することアマチュアンが加つて、まさに大 も有名なものばかりであるから、 虹質調、 新しい忠臣、 学道の忠臣滅とガラリ製った義士 学道の忠臣滅とガラリ製った義士 学道の忠臣滅とガラリ製った義士 の作で都有の大傑作!

十八名、三等三百名を聚集してるの豫定、甌貫一等三十名、二等五

臨着

育合の時間を特に と放送すること

決定した大會規定

在鄉軍人、觀察員、青年職、興校生物保太郎、金州市民會長加世田獨二

第二郎、全州倉會長曹世早 第二郎、全州倉會長曹世早

廿六日盛大に執行さる

山神社に於て端大に執行

を された、この日報夏のか

大連野球審判協會に委任 六月二十八日(土曜

年第一回支那・日本周遊の船

支那·日本 周遊の船路 阪商船共催で

夏物御準備として御徳用な品を澤山取揃へて破格提供致ます。 マーケットと 御室所用品賣出し

今夏、全満的に本社主催で擧行 を復活

で本大館は州内外に於いてぞれぞであっ、 本名稱 全補別の類似を野地大館州内外 ・ は、 、 は、

の證明書を附し監督名器の證明書を必要とす のうべ漢洲日報社運動部短申証明書を附し監督名淵手名明と監督名淵手名明

所で官傳のため輕氣 関はなる可く「時」 所はなる可く「時」 所はなる可く「時」









優秀なる品… で領座いますから御散策のお序に是非領立器の上街高

今日北京より多數入荷致しましたして最も相應しいお品で御座います線の葉に螺旋ぎし色に似たる翡潔は夏

日日

・共に自信ある品のみ

エーン(佛オーオー

大會の規則改正

ずことの出來ないものである、因ファンはもとより、一般の見のが





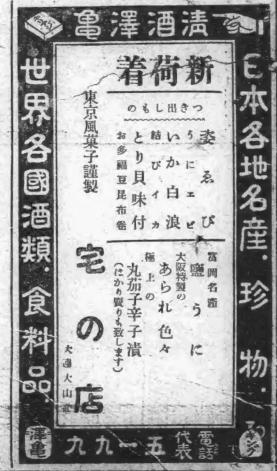
本店 姁 振替大連三九一九番 田時討店 語六

御買上げ一

間毎に抽籤券一

(但し此の券五枚にて即時桶籤)

品



日本断然優勢に攻め (第三日)

種競技

前半の得點

餘與氣分漂ふ

佛國庭球大會

日本選手戰績

家)女趙解、賈揚、麻香駒學日(六月三日夜、慶頂珠(打魚殺

キな野球

支那側の大陸的應指振

水泳部では猛練習

「東京二十六日翌電」極東大會日 支地三國の規則委員會は二十六日 を上競技、日本提出)には國際 ルールを採用す。但しハンマー は支比とも研究不足の故を以つ て本種目を加へる事を保留し師 で本種目を加へる事を保留し師

一、庭球(比島提案)現在のデ盃システムを改め次四より男子四名ダブルス二組を以つて採動方に依る事、但し日本は庭球協會側缺席のため保留し今後更に協議の上沙定する事の上沙定する事の上沙定する事の上沙定する。水上競技日本提案)対際ルール採用に決定し、ブールは五十七、新田に決定し、ブールは五十七十十二、水上競技日本提案)対象が

廿六日委員會で決定

間期し出賣

十七名に制限されてゐる 比鳥提案) 川場選手は監

八百米リレーとする事米、精目は二百米リレ

八十月五七月六

優秀なる翡翠

安比日間四三二一 得等等等 配 10七〇一點

永澤 文雄 大川 福二 大川 福二 99

1 情の二段の支那に機なの間の二段の支那の影響と入れる青赤の影響と入れる演響と変に関いてある青赤の影響と入れると演場のである青赤の影響ととは、一名の間に、

「は「山下三振して造れ」「名の間では、

「おいってある青赤の影響と入れると演場

「相の二段の支那の影響とと、

「名の支那の影響と、

「名の支那の影響と、

「名の支那の影響と、

「名の表別の表別となる。

「名の表別を表れる。

「名の間を表れる。

「名のは、

「るのは、

「るのは、

「るのは、

「るのは、

「るのは、

「るのは、

「るのは、

「るのは、

「る

獨立

七一夫人(佛)

(田)田川(田)

かし

日の試合における日本選手成器左翼電子リアランス庭珠選手棚大舎本

日本全勝 一腰本監督もペンチの関係は実行 籠球日比戰

大阪競技會に

生吉耕作 二八三八點 集田零治 二六一四點 黑田保夫 二六〇八點 日支排球戰 島[1]3

支那側が勝 9

は大命後日光見物の豫定である は大命後日光見物の豫定である は大命後日光見物の豫定である

支那選手不參加

環林安、打視出箱、芙蓉線▲第三日(六月一日臺)珠廉寨、決親演禮(四日夜)南天門(四郎探母▲同(同日夜)南天門(四郎探母▲) (1) 日夜) 擊賊萬寶 みに三日間のプログラムは左の通

四三佐藤八日)

一三面

様でとざいます

なかつた。そして優子の手を握

税证的四丁国

で西西大三名

な微笑を膨へ乍ら、偏じく後子夫人はわざと態には何類ないや

W死と聞ったのでごさ 型強しました。

になりまして?

自分の力を築めようとするかのや

そこには夫人が立つて居た。

十志子の部屋に近づいて来た

ででさいましたが のでございましたが ないった

夫人は静かに封筒を手にしたま

優子は立ち上つた。 そしてや

かったのであるり

色で描はれた

いのは私です ながいけないのです ながなればならな

私は、自分に力がないました

ない機な優子である。 知つたのである。 動る。それに……見た所何も出來 学な優子である事を夫人は始めて 奥さんだわ 大人の目には新らしい涙が溢れ

本人の面には 脱きと、活みと、 は最も強かつた。優しい夫人の心は最も強かつた。優しい夫人の心は、此の自硬的のか逃を贈いて、 使子の實情を知つて居るだけに、 はゆつくりと、低い酸で答へた。吃りがちな夫人の言葉へ、使子 下さいませんので 力が御座いませんので

から云つて倭子は伏目になった 百合子) 紹介 6

五年間の苦惱に打勝つた

コセ



時代の必要が生ま

大学なってするのが異特殊監察トツカビンの科學的責務であるさ信ず。
・アカビンは人権中傷生殖験の強強化を基調として
・アカビンは人権中傷生殖験の強強化を基調として
・アカビンは人権中傷生殖験の強強化を基調として
・アカビンは人権中傷生殖験の強強化を基調として

癒の目的を極めて速かに達し得る副作用を感ぜしめずして奏効し治 從つて一般腹痛下痢に對するアド ースの療法は身體に倦怠疲勞等の

・赤痢、コレラ、

取事局名荷丸

六四·五八八八八

殿静性下舟

日本蘇聯大連出張所

清島仁川行食事九 六月 五日 町 朝鲜郵船 速 山帆 是行(羅南丸 五月卅一日) 是行(羅南丸 五月卅一日 製菓すること有之候、

近海郵船財出机

國際運輸株式會計 大阪商船 大 連 支

店商衛兵利藤近熊町本京東 元賣發 店本衛兵傳谷神艷草漢京東 元造釀

此一杯

明日の精力を造る 今日の勞苦を忘れ

味

全 島谷汽船連出帆

ースの特殊價値

しむるのみに止まらず薬物の法の如く只單に勝管内の内容は腹痛下痢に對し普通用ひら

ロン

大阪商船株式大連支工作後二時(資州丸 大月十二日) 等品等港作時川州 大八月十二日 船案網斯白

日活現代劇臺本より 母 oin manning Her

正調「尺

本づ

無代

である事をお告げ申さらと思って 此處まで参ったので御座います。 此處まで参ったので御座います。 此處まで参ったので御座います。 のお標古は資みました。さらして した答へであつた。 を見 畸面座 よくわかるやうです 私には貴方の心持ちが

和

前に離かに強ったまゝ、深い物思教権かの紙幣が入つて居る動態を大へへンカチでねぐひ乍ら、夫人は

(二四)

大人の言葉に繋かに頭を下げて大人の言葉に繋かに頭を下げて

失禮で御座いますが 娘が一ト月お世話に なりました心ばかりの は、大きないのでは、ないのでは、大きないのでは、ない

東京尺八速成會

しはしなかつたのです。奥様!・わたくしは ざし出された動簡9

めただけで、 おうとする大人の手を張く振り締 あたまのハッキリセぬ人と

と やくりながら十志子は倭子の前

子供部屋では、

今さら乍らなき

が、後子には十志子に難して続

略自分自身を返り見る事がはづか一部ナ可き理由は輝きら無かつた。

セル小倉厚司 半 乗 賣 大連市信通町市場 本

髙級

拠店小間物店にあります

を整へる魔の所謂學理と臨牀とを合致せ又は潰瘍面をも被獲して腹痛を鎮め便通 る合理的療法であります 毒症狀の原因を成す毒素或は病原菌等を吸着作用を應用して膓管内に停滯して中 特に吸着脱取し更に胃腸壁粘膜の損傷部

には極めて少量にて効力顕著であるから 學的操作を加へ一層その吸着力を增强し 秀なる植物性炭素に特殊の化 然してアドースは吸着効果優 上質に便利な最新吸着剤である

店商者走禪廳 二海修道版大

鉴相玄淡相野玄淡 老模武路模浦武路 丸丸丸丸丸丸丸丸

医政部 輸

|||日本郵船出帆

だあばん丸斉背

李旗

電話四七二十三四八二番

① 大連汽船 山帆